

令和6年度 第1回
さいたま市インターネット市民意識調査
【調査報告書】

令和6年8月

さいたま市市長公室秘書広報部広聴課

インターネット市民意識調査 【調査報告書】

目次

1	調査企画とサンプル構成	1
2	調査結果	3
	SC1. 居住地	4
	【健康に係る生活習慣等に関する質問】	5
	Q1. 日常生活における身体活動の実施の有無	5
	Q2. 朝食を食べる頻度	6
	Q3. 習慣的な喫煙の有無	7
	Q4. ストレス解消法の認知度	8
	Q5. 「さいたま市食育なび」・「さいたま市健康なび」の認知度	9
	Q6. 「さいたま市健康マイレージアプリ WoLN(ウォルン)」の参加の有無	10
	【平和に対する考えに関する質問】	12
	Q7. さいたま市平和都市宣言の認知度	12
	Q7. さいたま市平和都市宣言の認知度（経年比較）	13
	Q8. さいたま市が検討する平和に関する事業で実施してほしいと思うもの（3つまで回答）	14
	【自動体外式除細動器（AED）に関する質問】	15
	Q9. AEDの設置場所の認知度	15
	Q10. AEDを設置の方がよい市有施設（3つまで回答）	16
	Q11. AEDを搭載の方がよい市有車両（複数回答）	17
	Q12. 自宅や勤務先付近などにAEDが設置された場合に抱く印象（3つまで回答）	18
	Q13. AEDを身近に感じられる周知方法（3つまで回答）	19
	【終活への関心に関する質問】	20
	Q14. 「終活」の認知度	20
	Q15. 重要だと考える「終活」の内容（複数回答）	21
	Q16. 自身やご親族の老後や今後の人生について不安を感じるか	22
	【市ホームページの利便性に関する質問】	24
	Q17. 市ホームページの利用経験	24
	Q17. 市ホームページの利用経験（経年比較）	25
	Q18. 市ホームページから知りたい情報の入手状況	26
	Q18. 市ホームページから知りたい情報の入手状況（経年比較）	27
	Q19. 市ホームページから情報を入手できなかった理由（複数回答）	28
	Q20. 市ホームページに望むこと（3つまで回答）	29
3	調査票（アンケート画面）	31

1 調査企画とサンプル構成

1-1 調査目的

市が事業を推進するにあたり、迅速に市民意識を把握することができるよう、インターネットを活用した市民意識調査を実施する。

1-2 調査地域

さいたま市

1-3 調査対象者

対象者条件：さいたま市在住の18歳～69歳の男女

18～29歳、30代、40代、50代、60代の5年齢層において、各年齢層の男女各100サンプル、合計1,000サンプルを対象とする。

1-4 有効回答数

無作為配信により、合計1,000サンプルを回収した。

(人)

	18～29歳	30代	40代	50代	60代	合計
男性	100	100	100	100	100	500
女性	100	100	100	100	100	500
合計	200	200	200	200	200	1,000

(参考) なお、各区の有効回答数は下表の通りである。

(人)

さいたま市	男性						女性						合計
	18-29歳	30代	40代	50代	60代	計	18-29歳	30代	40代	50代	60代	計	
西区	9	0	8	6	4	27	10	9	9	5	1	34	61
北区	6	9	6	17	13	51	13	15	8	12	8	56	107
大宮区	10	17	17	8	6	58	11	11	10	9	9	50	108
見沼区	10	8	9	11	8	46	10	15	14	17	16	72	118
中央区	15	13	9	11	7	55	9	9	8	4	9	39	94
桜区	7	10	7	8	5	37	7	3	5	8	9	32	69
浦和区	5	12	12	11	16	56	13	12	16	16	18	75	131
南区	25	12	18	16	23	94	15	14	12	17	13	71	165
緑区	8	10	9	9	14	50	6	8	11	10	11	46	96
岩槻区	5	9	5	3	4	26	6	4	7	2	6	25	51
合計	100	100	100	100	100	500	100	100	100	100	100	500	1,000

1-5 調査方法

インターネット調査（調査会社の登録モニターによるWEB調査）

1-6 実施時期

令和6年7月5日（金）～7月16日（火）

1-7 調査実施機関

株式会社サーベイリサーチセンター

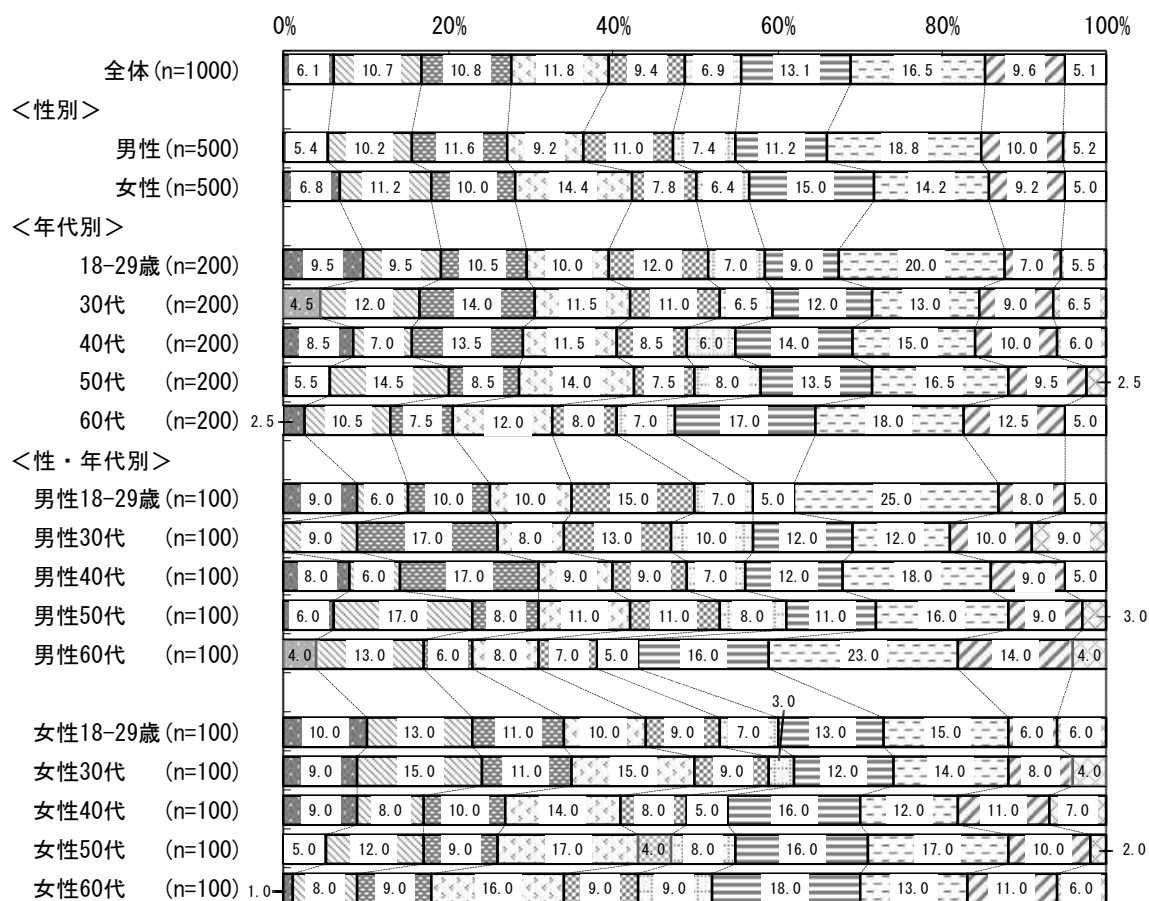
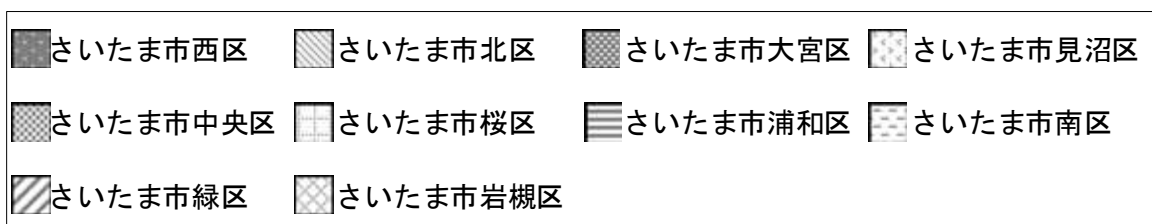
1-8 この報告書の見方

- (1) 図表中の「n」（number of case の略）は、各設問の回答者数を示し、比率算出の基数である。複数回答の設問では、すべての比率を合計すると100.0%を超える。
- (2) 図表中の調査結果の比率は、小数第2位を四捨五入して算出した。そのため、すべての比率を合計したときに100.0%にならないなど、各項目の比率と、その合計が一致しないことがある。
- (3) 図表中の選択肢の表記は、場合によっては語句を一部簡略化してある。
- (4) 【全体結果】及び【比較結果】における調査結果の比率は、図表中の調査結果の少数第1位を四捨五入して算出した。そのため、すべての比率を合計したときに100.0%にならないなど、各項目の比率と、その合計が一致しないことがある。

2 調査結果

SC1. 居住地

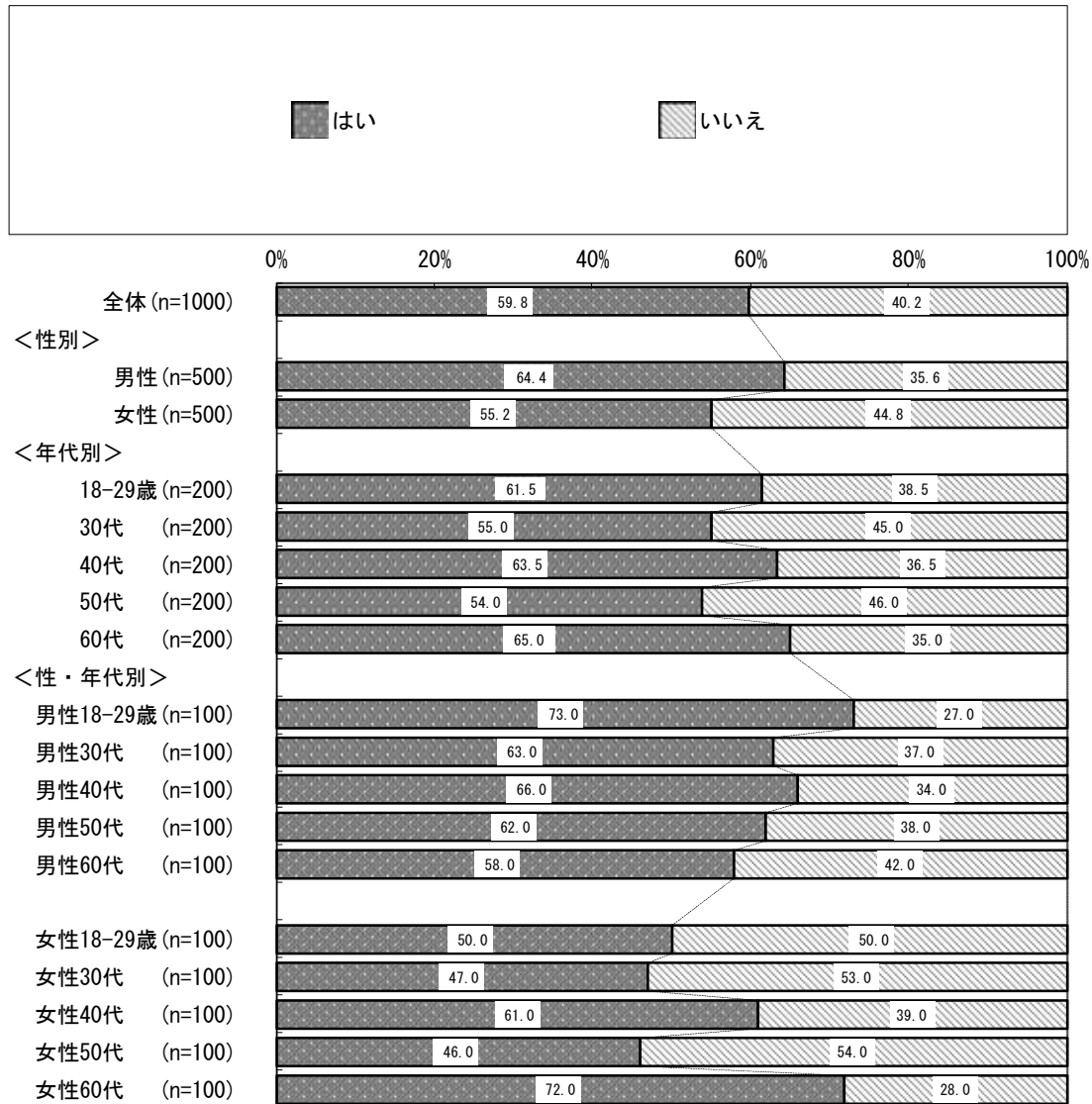
あなたのお住まいをお答えください。



【健康に関する生活習慣等に関する質問】

Q 1. 日常生活における身体活動の実施の有無

日常生活において、歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



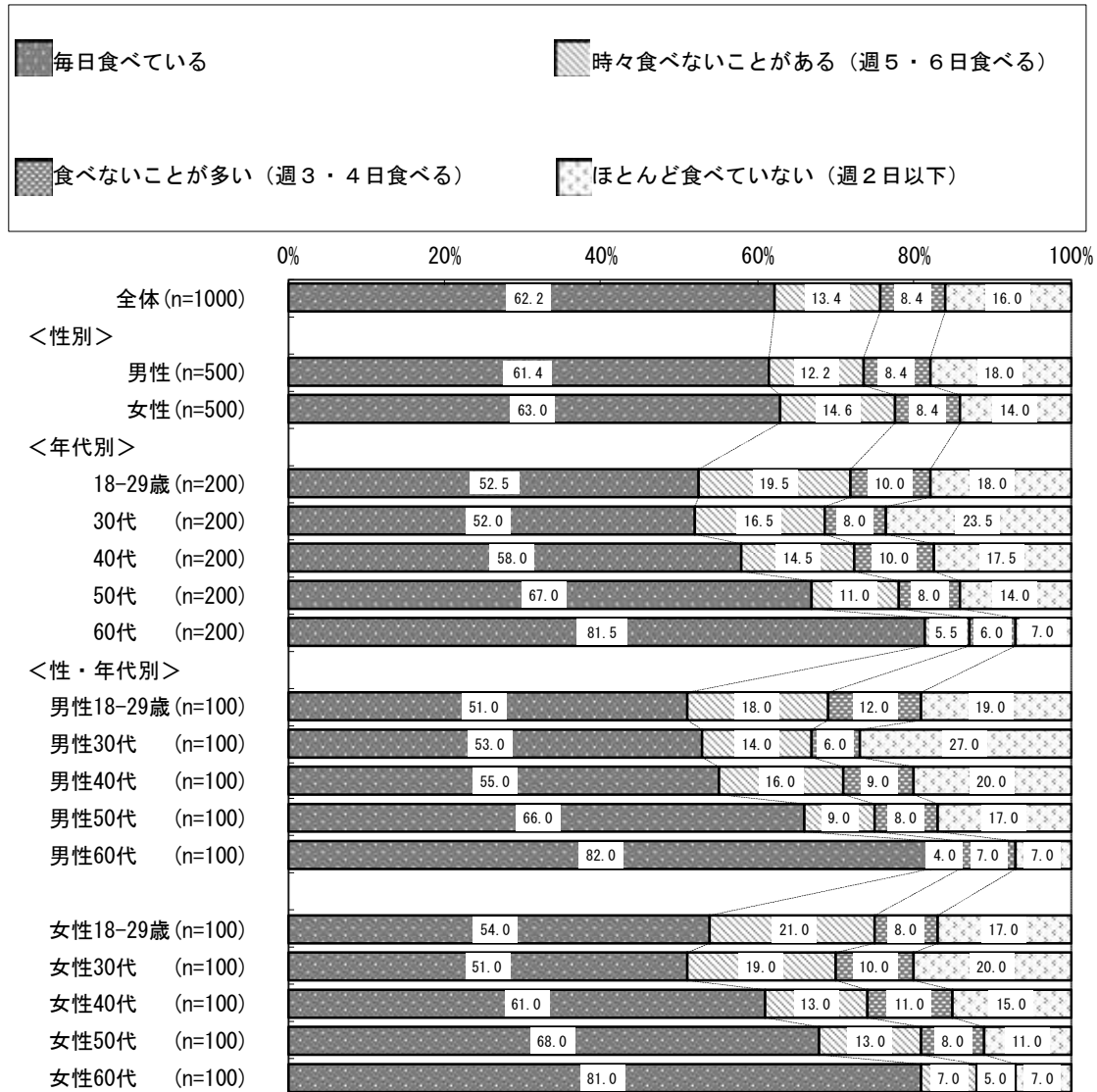
【全体結果】「はい」は60%であった。

- ◎性別で見ると、「はい」は、男性（64%）が女性（55%）よりも9ポイント高かった。
- ◎性・年代別で見ると、「はい」は、男性では年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、18-29歳で73%となった。

Q2. 朝食を食べる頻度

あなたは、朝食を食べていますか。

以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



【全体結果】「毎日食べている」が62%で最も高く、「ほとんど食べていない（週2日以下）」が16%、「時々食べないことがある（週5・6日食べる）」が13%であった。

◎年代別で見ると、「毎日食べている」は、年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、60代で82%となった。

Q3. 習慣的な喫煙の有無

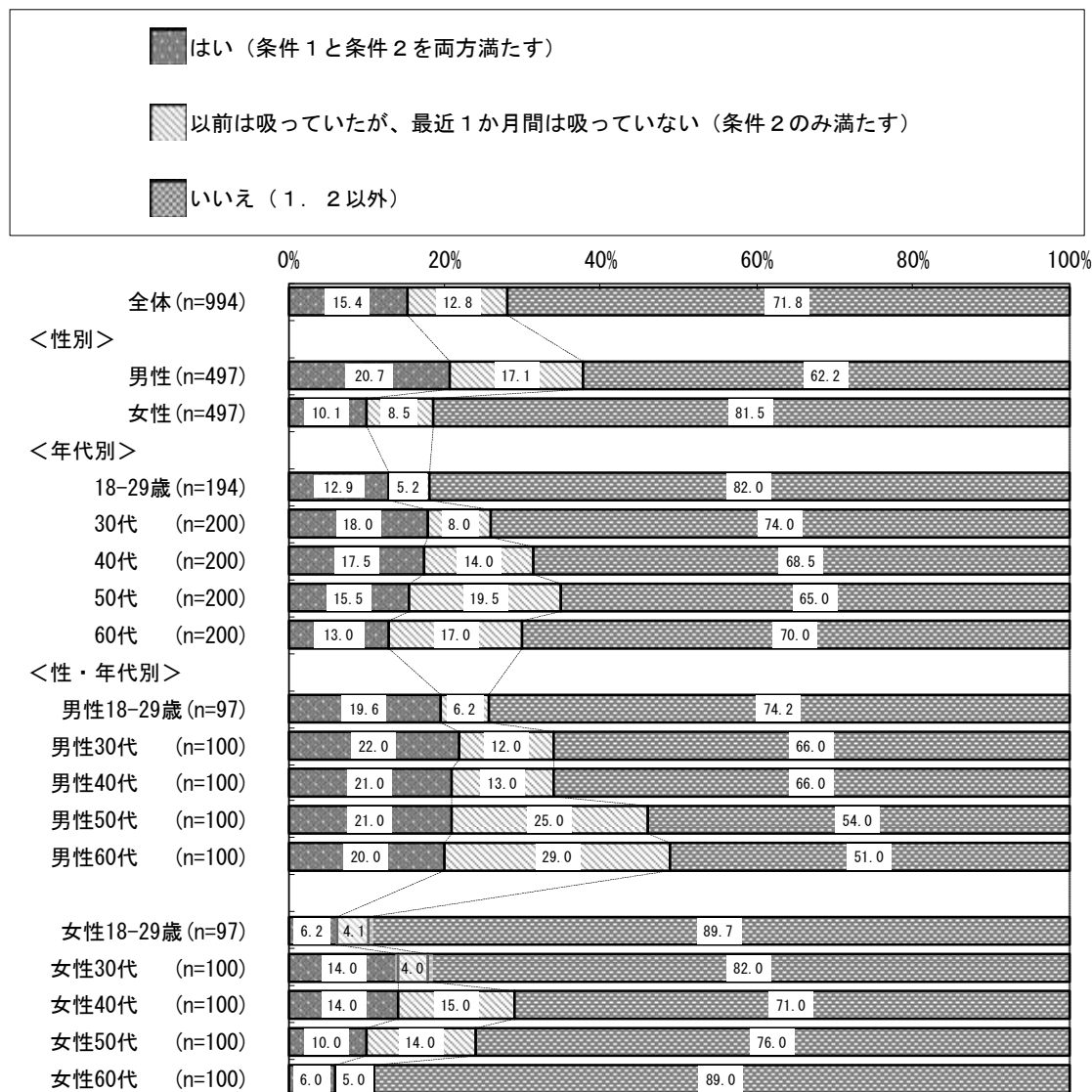
現在、たばこを習慣的に吸っていますか。

以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

※「現在、習慣的に喫煙している者」とは、条件1と条件2を両方満たす者である。

条件1：最近1か月間吸っている

条件2：生涯で6か月間以上吸っている、又は合計100本以上吸っている



【全体結果】「いいえ」が72%で最も高く、「はい」が15%、「以前は吸っていたが、最近1か月間は吸っていない」が13%であった。

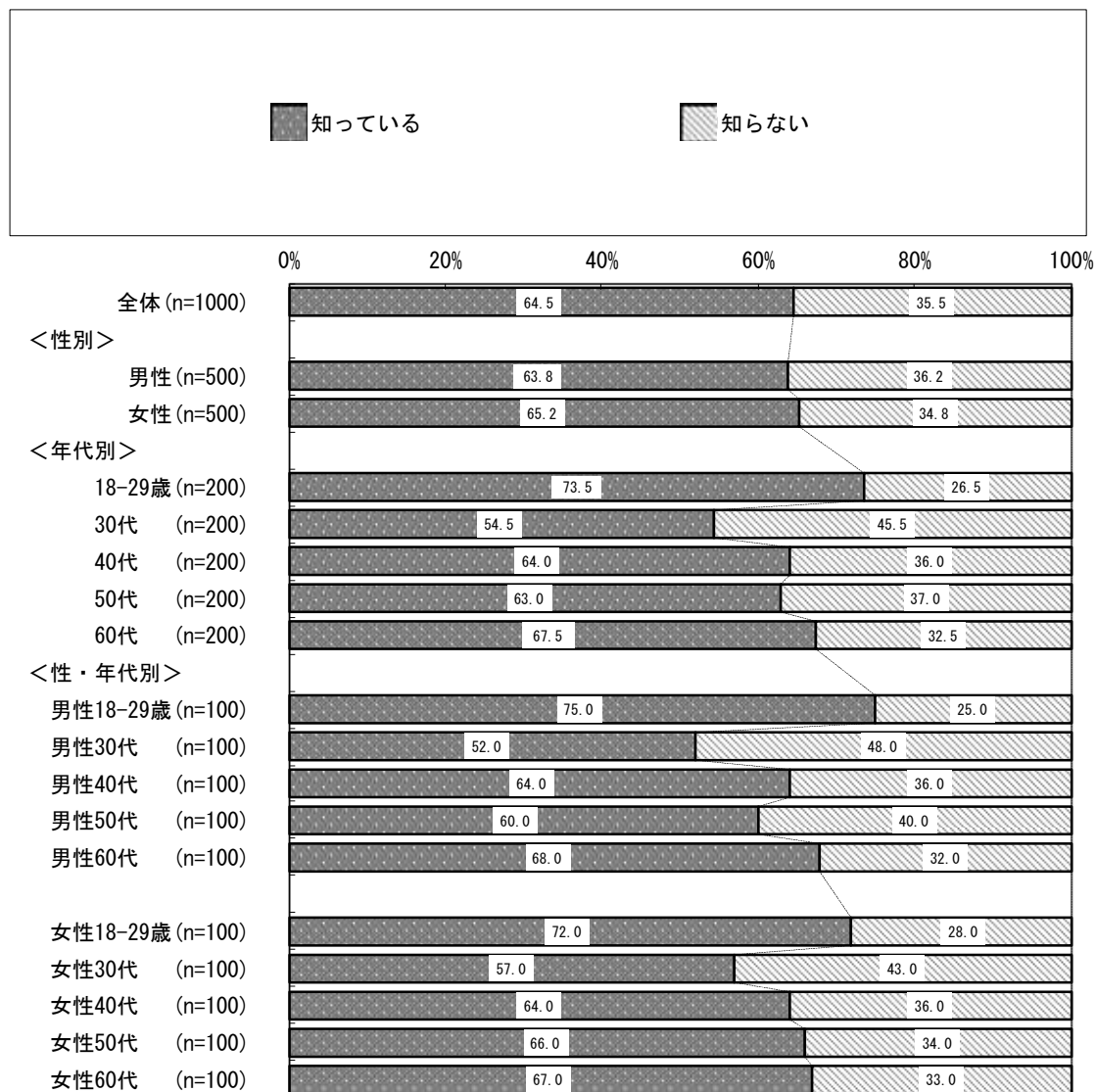
◎性別で見ると、「いいえ」は、女性（82%）が男性（62%）よりも20ポイント高かった。

◎年代別で見ると、「いいえ」は、18-29歳（82%）のみ8割を超えた。

◎性・年代別で見ると、「いいえ」は、男性では年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、18-29歳で74%となった。

Q 4. ストレス解消法の認知度

ストレスを感じた時に、自分に合ったストレスの解消法を知っていますか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



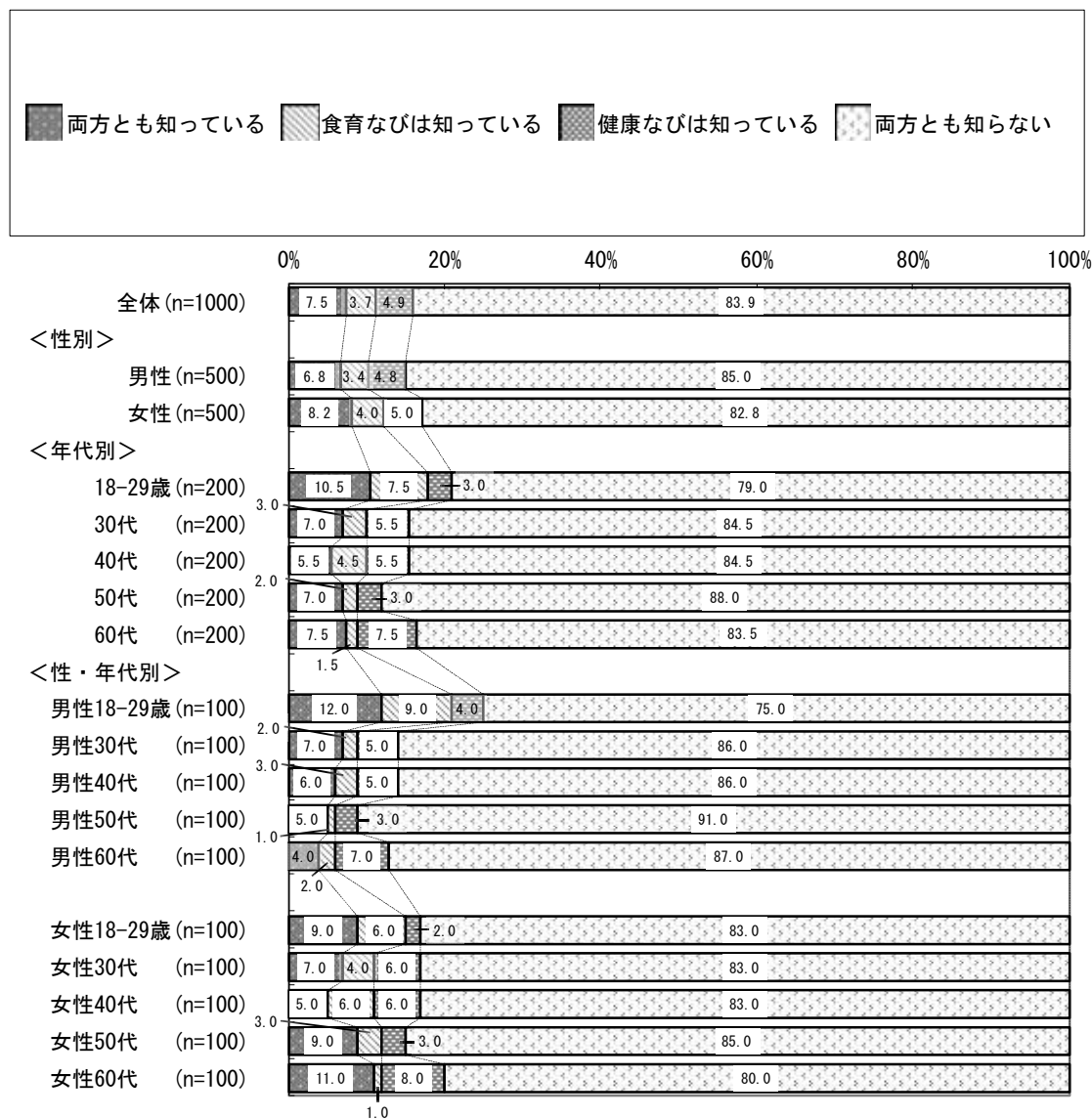
【全体結果】「知っている」は65%であった。

◎年代別で見ると、「知っている」は、18-29歳（74%）のみ7割を超えた。

Q5. 「さいたま市食育なび」・「さいたま市健康なび」の認知度

さいたま市を中心とする食育や健康に関する情報提供のホームページサイト「さいたま市食育なび」「さいたま市健康なび」を知っていますか。

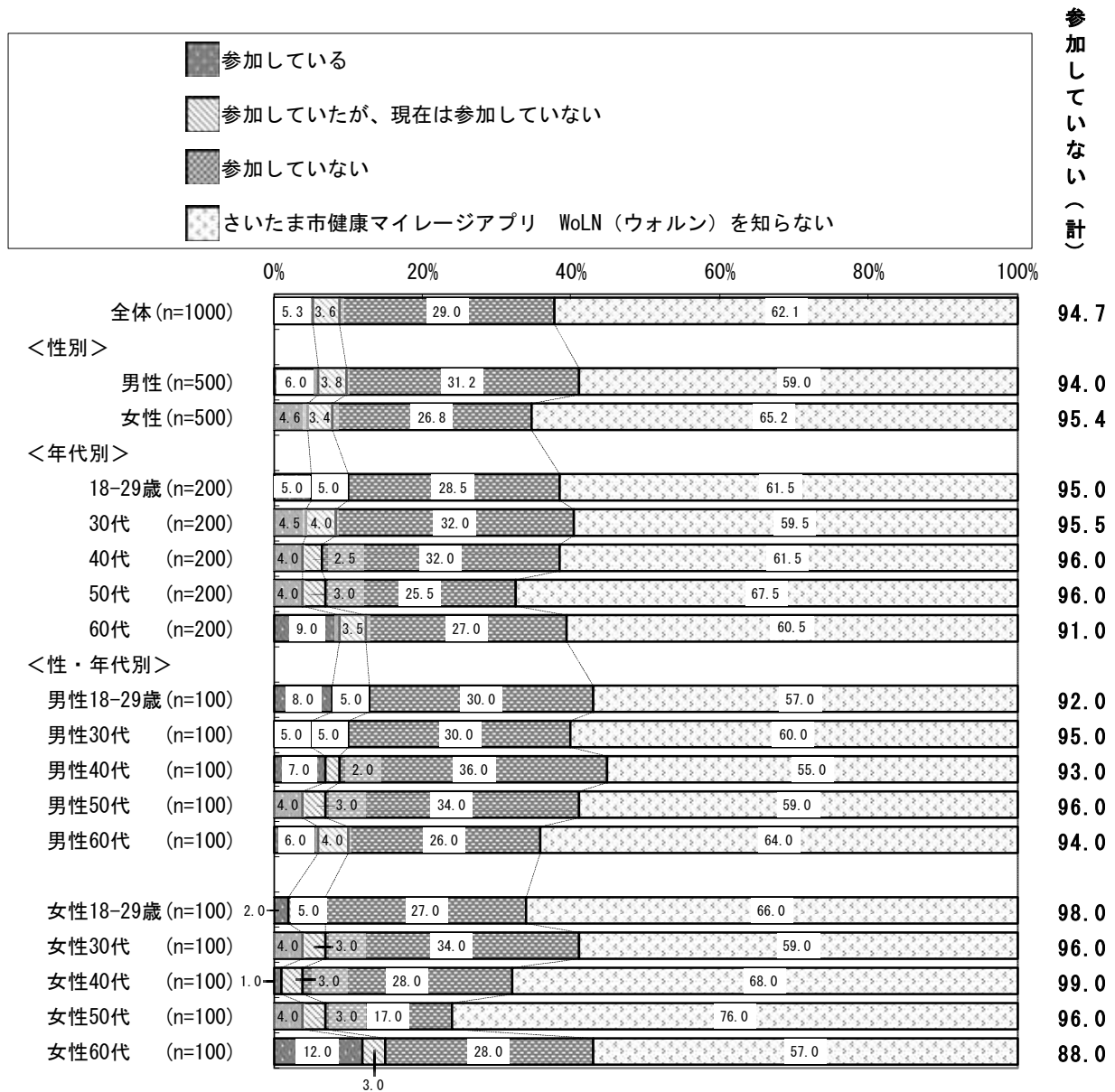
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



【全体結果】「両方とも知らない」が84%で最も高く、「両方とも知っている」が8%、「健康なびは知っている」が5%であった。

Q 6. 「さいたま市健康マイレージアプリ WoLN(ウォルン)」の参加の有無

令和5年12月にリニューアルした、スマートフォンアプリを活用し継続的な健康づくりを支援する「さいたま市健康マイレージアプリ WoLN(ウォルン)」に参加していますか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



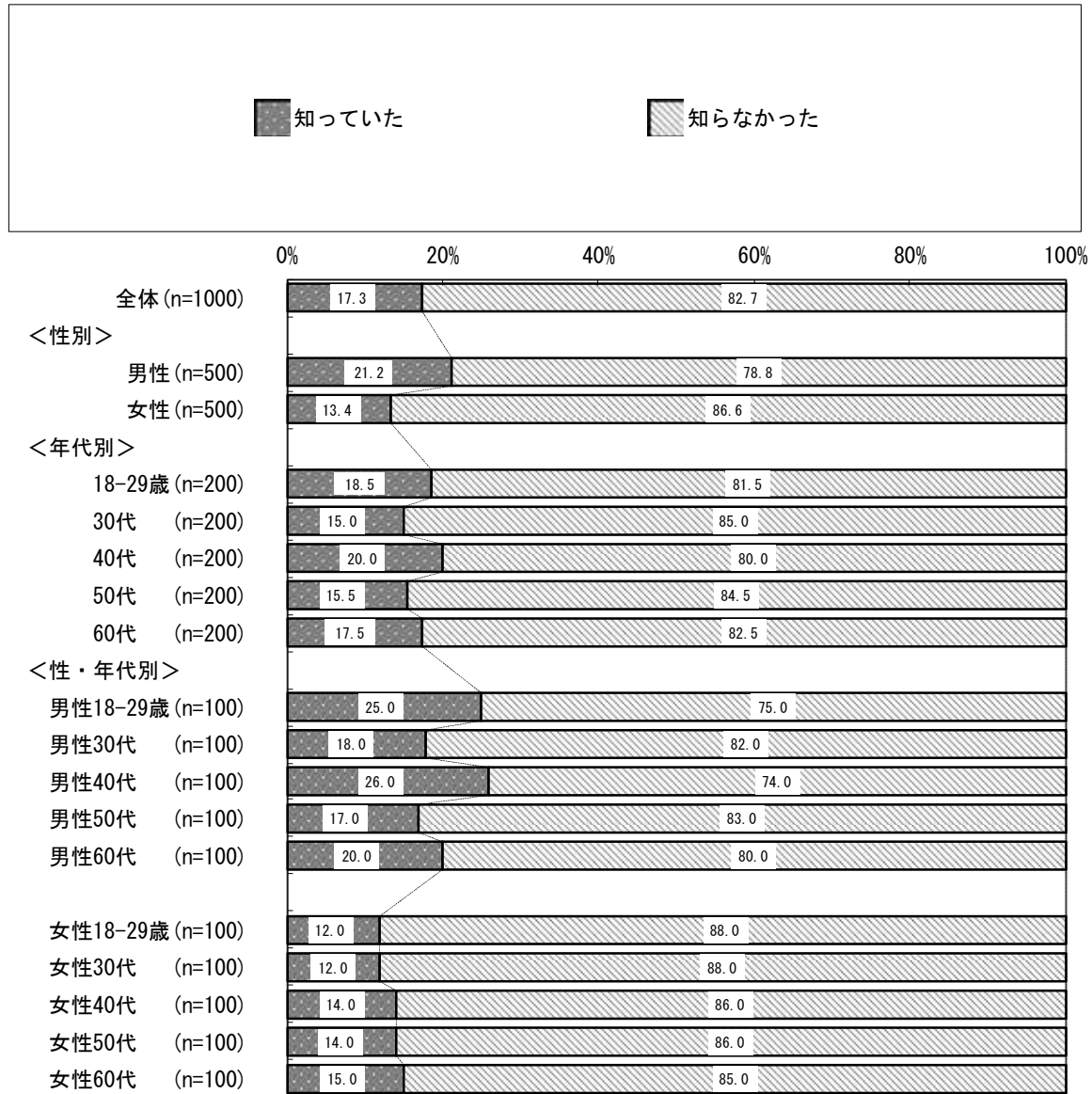
【全体結果】「参加していたが、現在は参加していない」(4%)と「参加していない」(29%)と「さいたま市健康マイレージアプリ WoLN(ウォルン) を知らない」(62%)を合わせた『参加していない (計)』は、95%であった。

◎性・年代別で見ると、「参加している」は、女性60代(12%)のみ1割を超えた。

【平和に対する考えに関する質問】

Q 7. さいたま市平和都市宣言の認知度

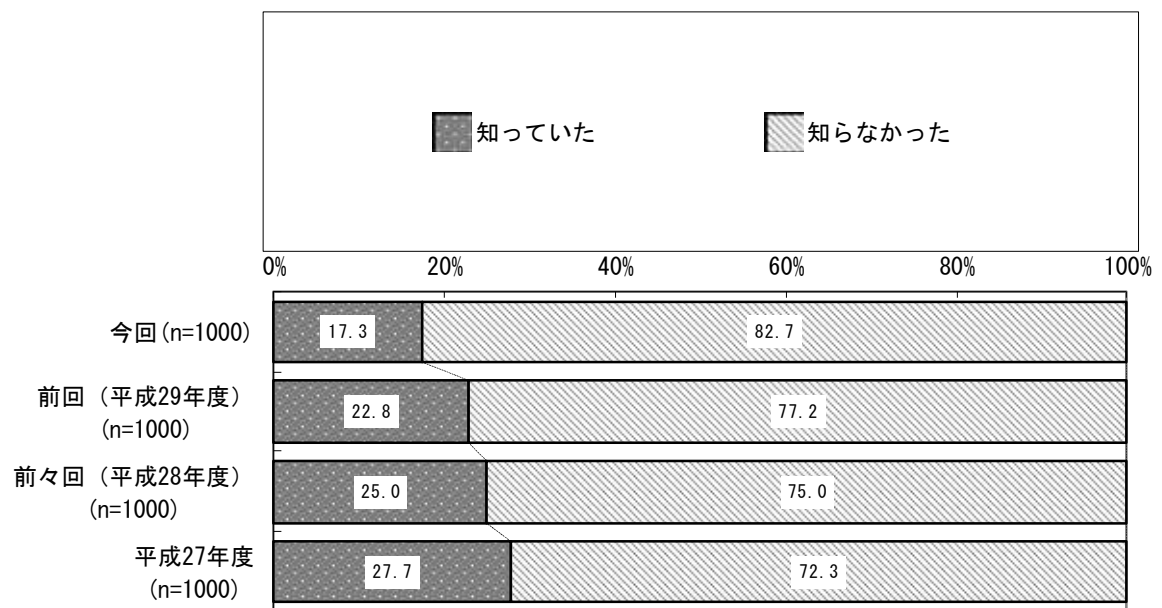
あなたは、さいたま市が平和都市宣言をしていることを知っていましたか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



【全体結果】「知らなかった」は83%であった。

- ◎性別で見ると、「知っていた」は、男性（21%）が女性（13%）よりも8ポイント高かった。
- ◎年代別で見ると、「知っていた」は、40代（20%）のみ2割を超えた。

Q 7. さいたま市平和都市宣言の認知度（経年比較）

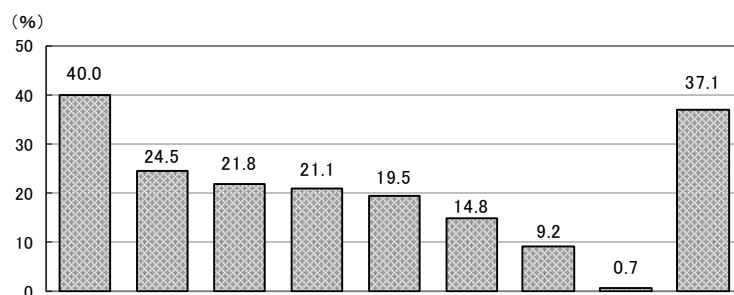


（※）平成27年度は20～69歳の調査結果です。

【比較結果】過去の同様の調査結果と比較すると、「知っていた」(17%)は、前回の調査結果(23%)よりも6ポイント減少した。

Q 8. さいたま市が検討する平和に関する事業で実施してほしいと思うもの（3つまで回答）

さいたま市では、平和都市宣言に基づいて、さまざまな平和に関する事業を実施しています。以下の中から、あなたが特に実施してほしいと思うものを3つまで選んでください。



		子どもの頃から平和・戦争について考える機会を提供する	戦争の悲惨さを知る機会を提供する	平和・戦争に関連する史料（文献や戦時中に使われていたものなど）に触れる機会を提供する	ドキュメンタリーなどに触れる機会を提供する	戦争を経験した人の経験談を聞く機会を提供する	写真など（戦争に触れる機会を提供する）（絵画や写真など）に触れる機会を提供する	ウムなどを開催する講演会やシンポジウム	その他	特になし／わからない
全体(n=1000)		40.0	24.5	21.8	21.1	19.5	14.8	9.2	0.7	37.1
性別	男性(n=500)	30.6	23.6	22.4	21.4	15.2	18.0	11.2	0.8	40.8
	女性(n=500)	49.4	25.4	21.2	20.8	23.8	11.6	7.2	0.6	33.4
年代別	18～29歳(n=200)	30.0	18.5	23.5	19.5	16.5	16.0	10.0	0.0	41.0
	30代 (n=200)	32.0	17.0	22.0	17.0	15.0	16.0	6.0	1.5	45.5
	40代 (n=200)	45.0	29.0	21.5	22.0	21.5	11.5	10.5	1.0	34.0
	50代 (n=200)	40.5	29.5	23.5	20.5	24.0	14.5	10.5	0.5	33.5
	60代 (n=200)	52.5	28.5	18.5	26.5	20.5	16.0	9.0	0.5	31.5
性・年代別	男性18～29歳(n=100)	23.0	24.0	23.0	25.0	15.0	19.0	12.0	0.0	38.0
	男性30代 (n=100)	26.0	17.0	26.0	17.0	12.0	21.0	6.0	2.0	46.0
	男性40代 (n=100)	31.0	25.0	19.0	18.0	16.0	13.0	15.0	1.0	45.0
	男性50代 (n=100)	26.0	28.0	23.0	19.0	18.0	18.0	14.0	1.0	39.0
	男性60代 (n=100)	47.0	24.0	21.0	28.0	15.0	19.0	9.0	0.0	36.0
	女性18～29歳(n=100)	37.0	13.0	24.0	14.0	18.0	13.0	8.0	0.0	44.0
	女性30代 (n=100)	38.0	17.0	18.0	17.0	18.0	11.0	6.0	1.0	45.0
	女性40代 (n=100)	59.0	33.0	24.0	26.0	27.0	10.0	6.0	1.0	23.0
	女性50代 (n=100)	55.0	31.0	24.0	22.0	30.0	11.0	7.0	0.0	28.0
	女性60代 (n=100)	58.0	33.0	16.0	25.0	26.0	13.0	9.0	1.0	27.0

【全体結果】「子どもの頃から平和・戦争について考える機会を提供する」が40%で最も高く、「戦争の悲惨さを知る機会を提供する」(25%)、「平和・戦争に関連する史料（文献や戦時中に使われていたものなど）に触れる機会を提供する」(22%)が続いた。

◎性別で見ると、「子どもの頃から平和・戦争について考える機会を提供する」、「戦争を経験した人の経験談を聞く機会を提供する」は、女性が男性よりも9ポイント以上高かった。

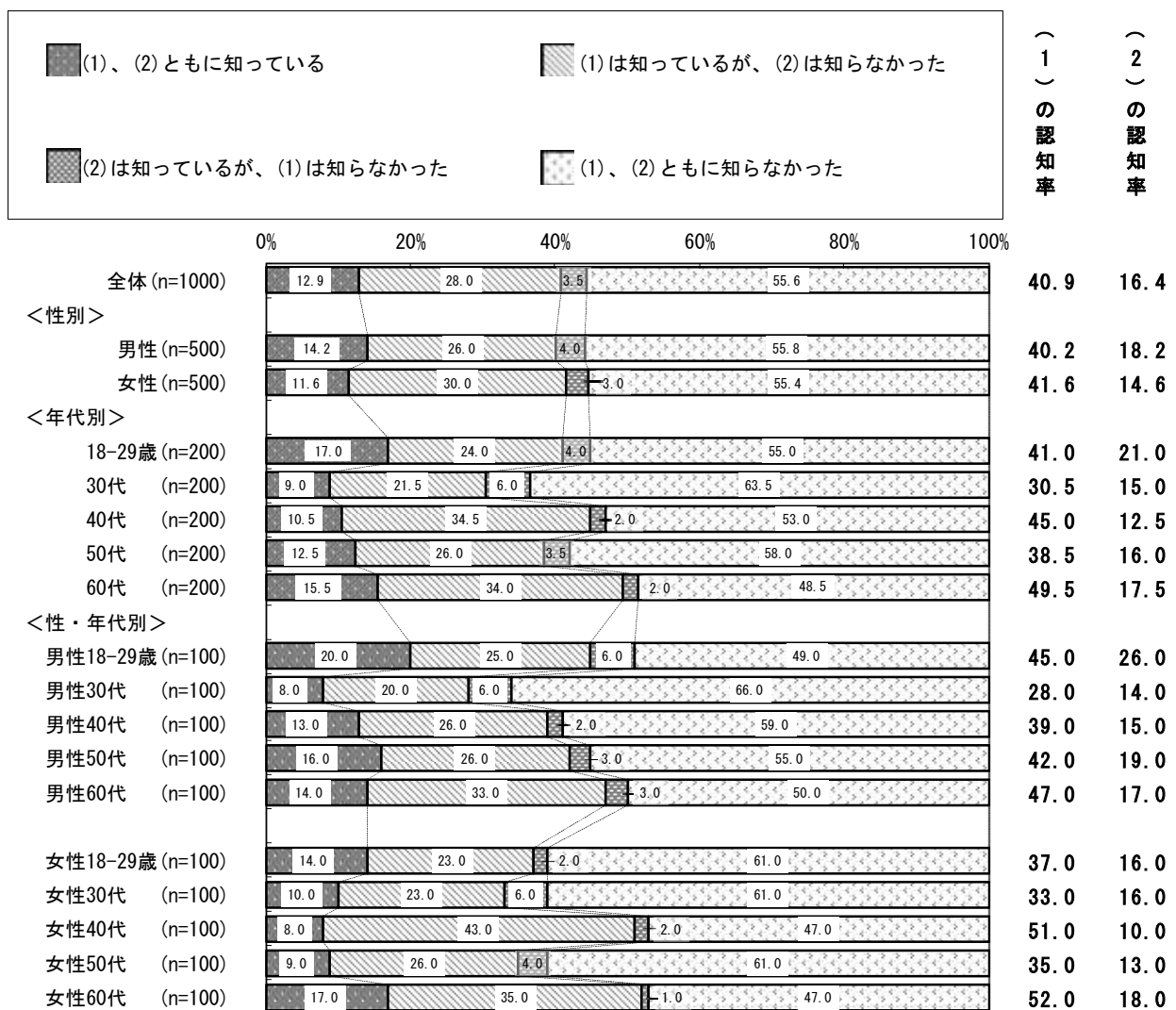
【自動体外式除細動器(AED)に関する質問】

Q 9. AED の設置場所の認知度

あなたは、(1)さいたま市の各区役所に24時間誰でも使用可能なAEDが設置されていることを知っていますか。

また、(2)さいたま市の市有施設内のAEDは、原則、トイレ付近に設置されていることを知っていますか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

自動体外式除細動器(AED)：心室細動(心臓が細かく震え、血液を全身に送ることができない状態)を起こした際、心臓に電流を流してショックを与えることで、正常な心臓のリズムに戻す機能を持つ医療機器です。



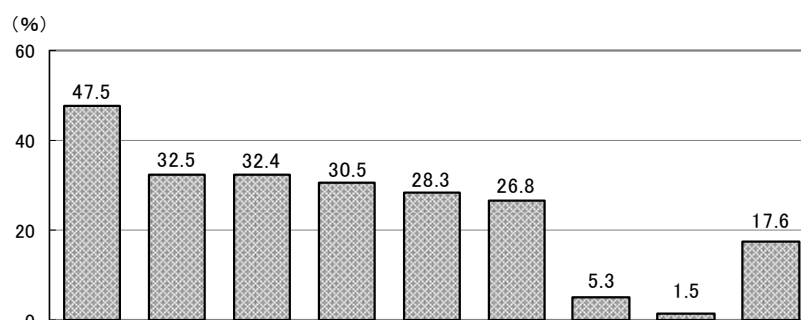
【全体結果】「(1)、(2)ともに知っている」(13%)と「(1)は知っているが、(2)は知らなかった」(28%)を合わせた『(1)の認知率』は、41%であった。

また、「(1)、(2)ともに知っている」(13%)と「(2)は知っているが、(1)は知らなかった」(4%)を合わせた『(2)の認知率』は、16%であった。

◎性・年代別で見ると、『(2)の認知率』は、男性18-29歳(26%)のみ2割を超えた。

Q10. AEDを設置した方がよい市有施設（3つまで回答）

あなたが、24時間誰でも使用可能なAEDを設置した方がいいと思う市有施設はどこですか。
以下の中から、あてはまるものを3つまで選んでください。



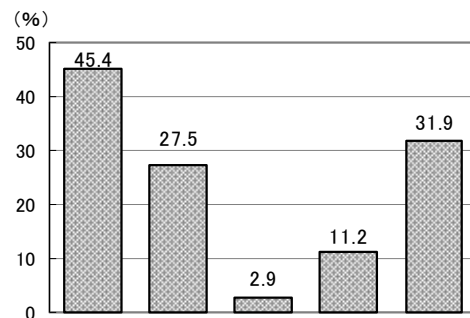
		公園	コミュニティセンター	スタジアム	文化施設（市民会館等）	公民館	図書館	その他	24時間誰でも使用可能なAEDを設	わからない
全体(n=1000)		47.5	32.5	32.4	30.5	28.3	26.8	5.3	1.5	17.6
性別	男性(n=500)	46.6	29.6	32.4	29.4	26.4	27.2	4.4	2.2	18.6
	女性(n=500)	48.4	35.4	32.4	31.6	30.2	26.4	6.2	0.8	16.6
年代別	18-29歳(n=200)	50.0	23.5	34.0	28.5	25.5	32.0	1.5	1.0	19.5
	30代 (n=200)	53.5	27.5	29.5	21.5	20.0	25.0	5.5	0.5	25.0
	40代 (n=200)	51.5	34.0	34.5	31.5	27.5	24.5	9.0	2.0	13.0
	50代 (n=200)	38.5	36.0	28.0	33.0	31.5	29.5	6.5	1.5	17.5
	60代 (n=200)	44.0	41.5	36.0	38.0	37.0	23.0	4.0	2.5	13.0
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	50.0	22.0	40.0	29.0	27.0	32.0	2.0	1.0	19.0
	男性30代 (n=100)	49.0	21.0	31.0	19.0	15.0	23.0	4.0	1.0	29.0
	男性40代 (n=100)	45.0	38.0	34.0	29.0	26.0	28.0	5.0	4.0	12.0
	男性50代 (n=100)	42.0	34.0	25.0	35.0	26.0	27.0	7.0	2.0	18.0
	男性60代 (n=100)	47.0	33.0	32.0	35.0	38.0	26.0	4.0	3.0	15.0
	女性18-29歳(n=100)	50.0	25.0	28.0	28.0	24.0	32.0	1.0	1.0	20.0
	女性30代 (n=100)	58.0	34.0	28.0	24.0	25.0	27.0	7.0	0.0	21.0
	女性40代 (n=100)	58.0	30.0	35.0	34.0	29.0	21.0	13.0	0.0	14.0
	女性50代 (n=100)	35.0	38.0	31.0	31.0	37.0	32.0	6.0	1.0	17.0
	女性60代 (n=100)	41.0	50.0	40.0	41.0	36.0	20.0	4.0	2.0	11.0

【全体結果】「公園」が48%で最も高く、「コミュニティセンター」(33%)、「スタジアム」(32%)が続いた。

◎性別で見ると、「コミュニティセンター」は、女性（35%）が男性（30%）よりも5ポイント高かった。

Q 1 1. AED を搭載した方がよい市有車両（複数回答）

あなたが、AED を搭載したほうがよいと思う市内を循環する市有車両はどれですか。
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		青色防犯パトロール車	ごみ収集車	その他	市内を循環する市有車両に AED を搭載する必要はない	わからない
全体(n=1000)		45.4	27.5	2.9	11.2	31.9
性別	男性(n=500)	45.6	28.4	3.6	13.8	28.0
	女性(n=500)	45.2	26.6	2.2	8.6	35.8
年代別	18-29歳(n=200)	47.0	30.5	1.0	13.0	29.0
	30代 (n=200)	41.5	32.5	4.5	9.0	35.0
	40代 (n=200)	51.0	26.0	3.0	8.5	27.5
	50代 (n=200)	41.0	24.5	3.0	12.0	40.0
	60代 (n=200)	46.5	24.0	3.0	13.5	28.0
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	50.0	29.0	2.0	15.0	25.0
	男性30代 (n=100)	38.0	34.0	4.0	14.0	32.0
	男性40代 (n=100)	57.0	29.0	3.0	8.0	20.0
	男性50代 (n=100)	38.0	27.0	6.0	14.0	39.0
	男性60代 (n=100)	45.0	23.0	3.0	18.0	24.0
	女性18-29歳(n=100)	44.0	32.0	0.0	11.0	33.0
	女性30代 (n=100)	45.0	31.0	5.0	4.0	38.0
	女性40代 (n=100)	45.0	23.0	3.0	9.0	35.0
	女性50代 (n=100)	44.0	22.0	0.0	10.0	41.0
	女性60代 (n=100)	48.0	25.0	3.0	9.0	32.0

【全体結果】「青色防犯パトロール車」が45%で最も高く、「ごみ収集車」(28%)、「市内を循環する市有車両に AED を搭載する必要はない」(11%)が続いた。

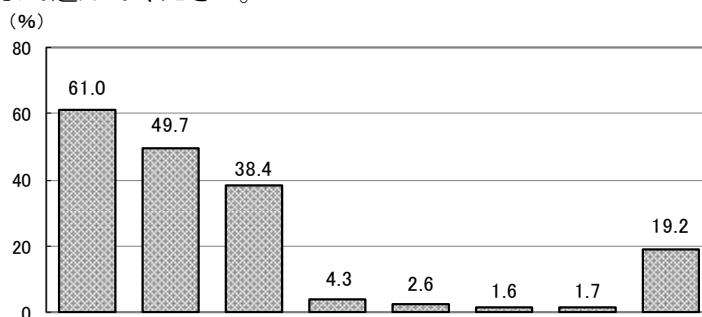
◎性別で見ると、「市内を循環する市有車両に AED を搭載する必要はない」は、男性(14%)が女性(9%)よりも5ポイント高かった。

◎年代別で見ると、「青色防犯パトロール車」は、40代(51%)のみ5割を超えた。

Q 1 2. 自宅や勤務先付近などに AED が設置された場合に抱く印象（3 つまで回答）

あなたの自宅や勤務先付近などに、24 時間誰でも使用可能な AED が設置されたらどのような印象を抱きますか。

以下の中から、あてはまるものを 3 つまで選んでください。



		救命や健康への意識が高まる	安心して生活ができる	地域の助け合いの心が根付く	不安感を煽る	ある AED 収納ボックスの転倒など心配がある	景観を損ねる	その他	わからない
全体(n=1000)		61.0	49.7	38.4	4.3	2.6	1.6	1.7	19.2
性別	男性(n=500)	59.2	46.6	36.0	4.8	3.4	2.2	1.4	21.6
	女性(n=500)	62.8	52.8	40.8	3.8	1.8	1.0	2.0	16.8
年代別	18-29 歳(n=200)	55.0	57.0	36.0	6.5	4.5	5.0	0.0	19.0
	30代 (n=200)	60.0	44.0	30.5	4.5	1.5	0.5	3.0	25.5
	40代 (n=200)	62.5	52.0	38.5	6.0	3.0	1.0	1.5	14.0
	50代 (n=200)	58.5	50.5	40.5	3.0	2.5	1.0	1.5	21.5
	60代 (n=200)	69.0	45.0	46.5	1.5	1.5	0.5	2.5	16.0
性・年代別	男性18-29 歳(n=100)	60.0	54.0	35.0	8.0	5.0	9.0	0.0	18.0
	男性30代 (n=100)	60.0	37.0	27.0	6.0	2.0	1.0	2.0	27.0
	男性40代 (n=100)	57.0	52.0	38.0	6.0	3.0	1.0	0.0	18.0
	男性50代 (n=100)	55.0	51.0	35.0	3.0	5.0	0.0	2.0	24.0
	男性60代 (n=100)	64.0	39.0	45.0	1.0	2.0	0.0	3.0	21.0
	女性18-29 歳(n=100)	50.0	60.0	37.0	5.0	4.0	1.0	0.0	20.0
	女性30代 (n=100)	60.0	51.0	34.0	3.0	1.0	0.0	4.0	24.0
	女性40代 (n=100)	68.0	52.0	39.0	6.0	3.0	1.0	3.0	10.0
	女性50代 (n=100)	62.0	50.0	46.0	3.0	0.0	2.0	1.0	19.0
	女性60代 (n=100)	74.0	51.0	48.0	2.0	1.0	1.0	2.0	11.0

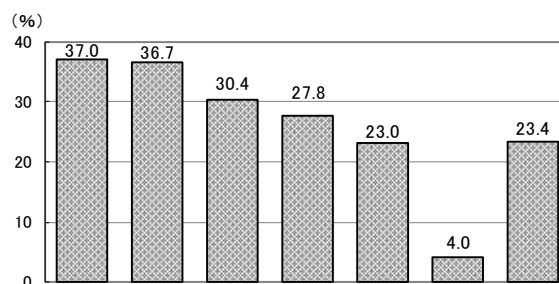
【全体結果】「救命や健康への意識が高まる」が 61% で最も高く、「安心して生活ができる」(50%)、「地域の助け合いの心が根付く」(38%) が続いた。

◎性別で見ると、「安心して生活ができる」は、女性（53%）が男性（47%）よりも 6 ポイント高かった。

◎性・年代別で見ると、「救命や健康への意識が高まる」は、女性では年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、60 代で 74% となった。

Q 1 3. AED を身近に感じられる周知方法（3つまで回答）

あなたが、AED を身近に感じられる取組として望ましいと思う周知方法は何ですか。
以下の中から、あてはまるものを3つまで選んでください。



		キャンペーンなどの実施	定期的な SNS 等での配信	映像を用いた広報	啓発品の作成と配布	イベントでのブース出展	その他	わからない
全体(n=1000)		37.0	36.7	30.4	27.8	23.0	4.0	23.4
性別	男性(n=500)	37.2	32.8	31.4	28.2	20.2	3.0	25.0
	女性(n=500)	36.8	40.6	29.4	27.4	25.8	5.0	21.8
年代別	18-29歳(n=200)	29.0	43.0	28.5	26.0	20.0	1.0	30.0
	30代 (n=200)	33.5	39.5	28.0	30.0	17.5	2.5	29.0
	40代 (n=200)	41.0	39.5	31.0	30.0	22.5	5.0	16.0
	50代 (n=200)	37.5	31.0	31.5	24.5	29.5	5.0	24.0
	60代 (n=200)	44.0	30.5	33.0	28.5	25.5	6.5	18.0
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	30.0	44.0	29.0	29.0	24.0	0.0	24.0
	男性30代 (n=100)	31.0	34.0	35.0	28.0	16.0	1.0	31.0
	男性40代 (n=100)	44.0	33.0	33.0	30.0	19.0	2.0	19.0
	男性50代 (n=100)	36.0	24.0	28.0	21.0	22.0	5.0	30.0
	男性60代 (n=100)	45.0	29.0	32.0	33.0	20.0	7.0	21.0
	女性18-29歳(n=100)	28.0	42.0	28.0	23.0	16.0	2.0	36.0
	女性30代 (n=100)	36.0	45.0	21.0	32.0	19.0	4.0	27.0
	女性40代 (n=100)	38.0	46.0	29.0	30.0	26.0	8.0	13.0
	女性50代 (n=100)	39.0	38.0	35.0	28.0	37.0	5.0	18.0
	女性60代 (n=100)	43.0	32.0	34.0	24.0	31.0	6.0	15.0

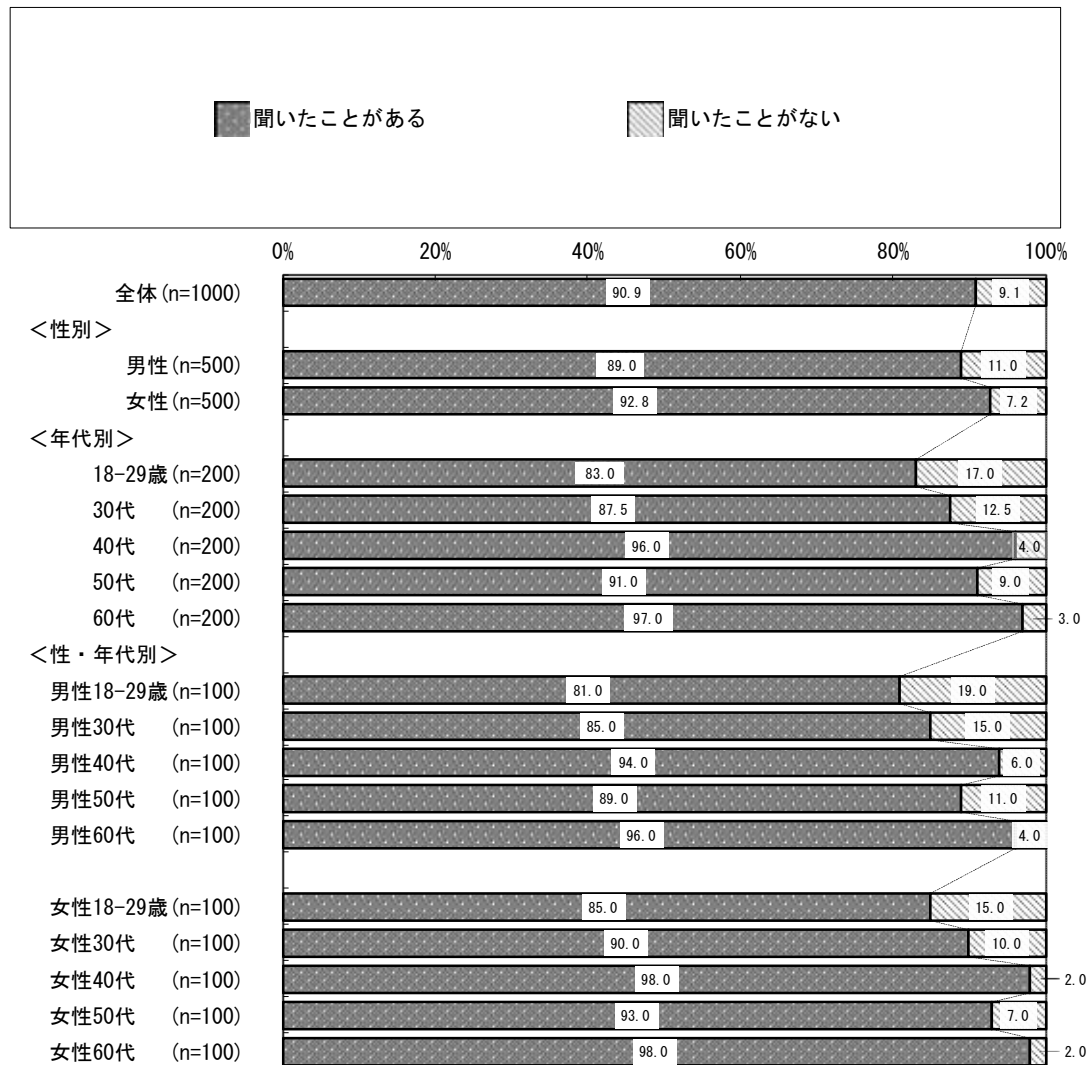
【全体結果】「キャンペーンなどの実施」、「定期的な SNS 等での配信」がともに 37%で最も高く、「映像を用いた広報」(30%)が続いた。

- ◎性別で見ると、「定期的な SNS 等での配信」、「イベントでのブース出展」は、女性が男性よりも6ポイント以上高かった。
- ◎年代別で見ると、「定期的な SNS 等での配信」は、年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、18-29歳で43%となった。
- ◎性・年代別で見ると、「キャンペーンなどの実施」は、女性では年代が上がるにつれ高くなり、60代で43%となった。

【終活への関心に関する質問】

Q14. 「終活」の認知度

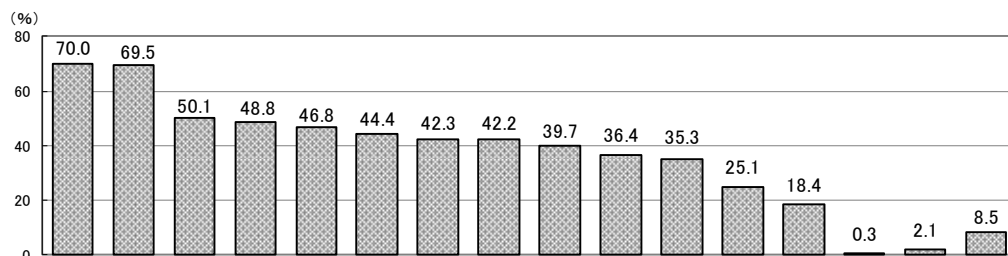
あなたは、「終活」という言葉を聞いたことがありますか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



【全体結果】「聞いたことがある」は91%であった。

Q15. 重要だと考える「終活」の内容（複数回答）

「終活」とは、高齢期に行うべき様々なことを含んだ言葉です。
 高齢化が進展する中で、どのような「終活」が重要だと考えますか。
 以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



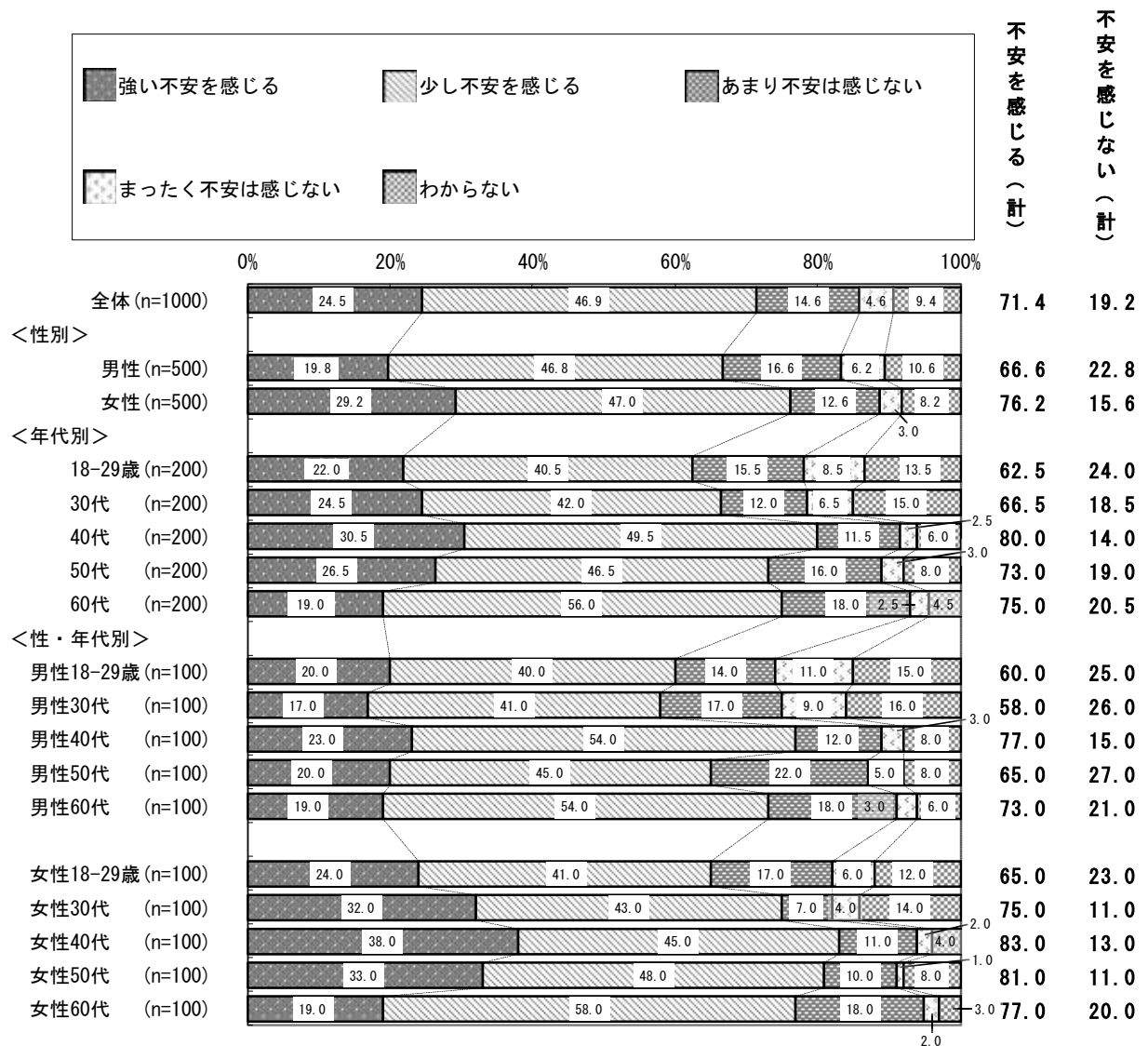
		身の回りや持ち物の整理	財産の整理	認知症になった場合の備え	パソコンやスマホのデータ整理	相続の準備	葬儀やお墓に関する準備	遺言書の作成	亡くなった後の手続きに関する手配	延命治療や緩和ケアについての意思決定	エンディングノート作成	介護サービスの利用や施設入所についての意思決定	日常の見守りや安否確認の手配	成年後見制度の利用	その他	終活が重要だと思わない	わからない
全体(n=1000)		70.0	69.5	50.1	48.8	46.8	44.4	42.3	42.2	39.7	36.4	35.3	25.1	18.4	0.3	2.1	8.5
性別	男性(n=500)	60.8	65.8	44.2	47.8	42.4	36.4	37.8	31.8	30.2	29.2	27.8	19.0	16.0	0.2	3.2	10.2
	女性(n=500)	79.2	73.2	56.0	49.8	51.2	52.4	46.8	52.6	49.2	43.6	42.8	31.2	20.8	0.4	1.0	6.8
年代別	18-29歳(n=200)	61.5	63.5	39.5	42.5	46.5	42.5	42.0	40.0	30.0	28.5	27.0	20.0	18.5	0.0	2.5	11.0
	30代 (n=200)	63.0	65.5	50.0	51.0	49.0	49.0	44.5	48.0	37.5	32.0	35.0	26.0	19.5	0.5	2.5	14.5
	40代 (n=200)	73.0	73.5	54.0	53.0	47.0	44.5	46.0	43.0	42.0	34.5	33.5	23.0	21.5	1.0	1.5	6.0
	50代 (n=200)	75.5	75.5	50.5	51.0	48.0	45.0	43.0	42.0	41.0	45.5	38.0	30.0	20.0	0.0	1.0	7.5
	60代 (n=200)	77.0	69.5	56.5	46.5	43.5	41.0	36.0	38.0	48.0	41.5	43.0	26.5	12.5	0.0	3.0	3.5
	60代 (n=200)	77.0	69.5	56.5	46.5	43.5	41.0	36.0	38.0	48.0	41.5	43.0	26.5	12.5	0.0	3.0	3.5
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	53.0	61.0	39.0	39.0	37.0	31.0	36.0	23.0	21.0	20.0	21.0	15.0	20.0	0.0	3.0	15.0
	男性30代 (n=100)	50.0	60.0	42.0	50.0	42.0	35.0	38.0	35.0	28.0	22.0	24.0	17.0	17.0	1.0	5.0	15.0
	男性40代 (n=100)	62.0	68.0	47.0	50.0	45.0	41.0	43.0	37.0	34.0	22.0	27.0	18.0	22.0	0.0	2.0	9.0
	男性50代 (n=100)	66.0	72.0	37.0	47.0	46.0	34.0	40.0	32.0	29.0	38.0	30.0	22.0	13.0	0.0	2.0	8.0
	男性60代 (n=100)	73.0	68.0	56.0	53.0	42.0	41.0	32.0	32.0	39.0	44.0	37.0	23.0	8.0	0.0	4.0	4.0
	女性18-29歳(n=100)	70.0	66.0	40.0	46.0	56.0	54.0	48.0	57.0	39.0	37.0	33.0	25.0	17.0	0.0	2.0	7.0
	女性30代 (n=100)	76.0	71.0	58.0	52.0	56.0	63.0	51.0	61.0	47.0	42.0	46.0	35.0	22.0	0.0	0.0	14.0
	女性40代 (n=100)	84.0	79.0	61.0	56.0	49.0	48.0	49.0	49.0	50.0	47.0	40.0	28.0	21.0	2.0	1.0	3.0
	女性50代 (n=100)	85.0	79.0	64.0	55.0	50.0	56.0	46.0	52.0	53.0	53.0	46.0	38.0	27.0	0.0	0.0	7.0
	女性60代 (n=100)	81.0	71.0	57.0	40.0	45.0	41.0	40.0	44.0	57.0	39.0	49.0	30.0	17.0	0.0	2.0	3.0

【全体結果】「身の回りや持ち物の整理」、「財産の整理」がともに70%で最も高く、「認知症になった場合の備え」(50%)、「パソコンやスマホのデータ整理」(49%)が続いた。

- ◎性別で見ると、「身の回りや持ち物の整理」、「亡くなった後の手続きに関する手配」、「延命治療や緩和ケアについての意思決定」などは、女性が男性よりも18ポイント以上高かった。
- ◎年代別で見ると、「身の回りや持ち物の整理」は、年代が上がるにつれ高くなり、60代で77%となった。
- ◎性・年代別で見ると、「延命治療や緩和ケアについての意思決定」は、女性では年代が上がるにつれ高くなり、60代で57%となった。

Q 1 6. 自身やご親族の老後や今後の人生について不安を感じるか

ご自身やご親族の老後や今後の人生について、不安を感じることがありますか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



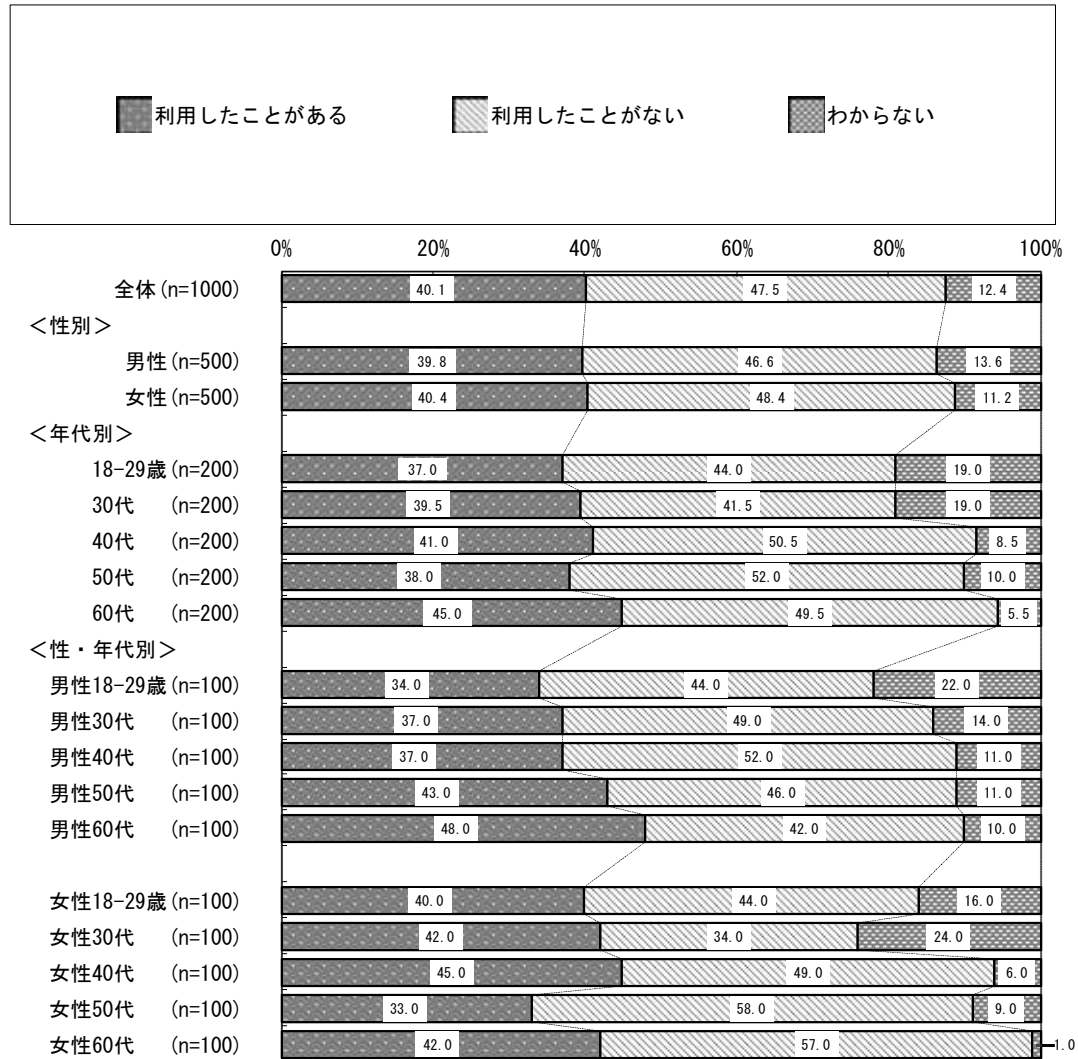
【全体結果】「強い不安を感じる」(25%)と「少し不安を感じる」(47%)を合わせた『不安を感じる(計)』は、71%であった。
また、「あまり不安は感じない」(15%)と「まったく不安は感じない」(5%)を合わせた『不安を感じない(計)』は、19%であった。

◎性別で見ると、『不安を感じる(計)』は、女性(76%)が男性(67%)よりも9ポイント高かった。

【市ホームページの利便性に関する質問】

Q 17. 市ホームページの利用経験

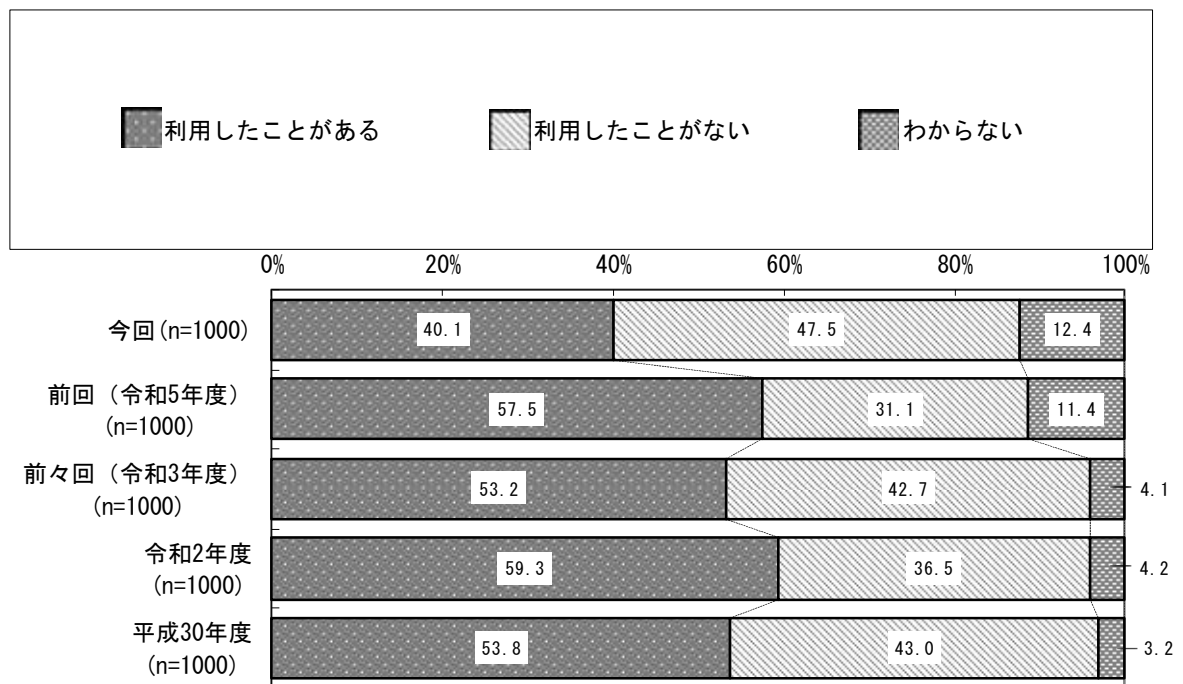
あなたは、最近1年間で、さいたま市のホームページを利用したことがありますか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



【全体結果】「利用したことがない」は48%であった。

◎性・年代別で見ると、「利用したことがある」は、男性では年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、60代で48%となった。

Q 1 7 . 市ホームページの利用経験（経年比較）

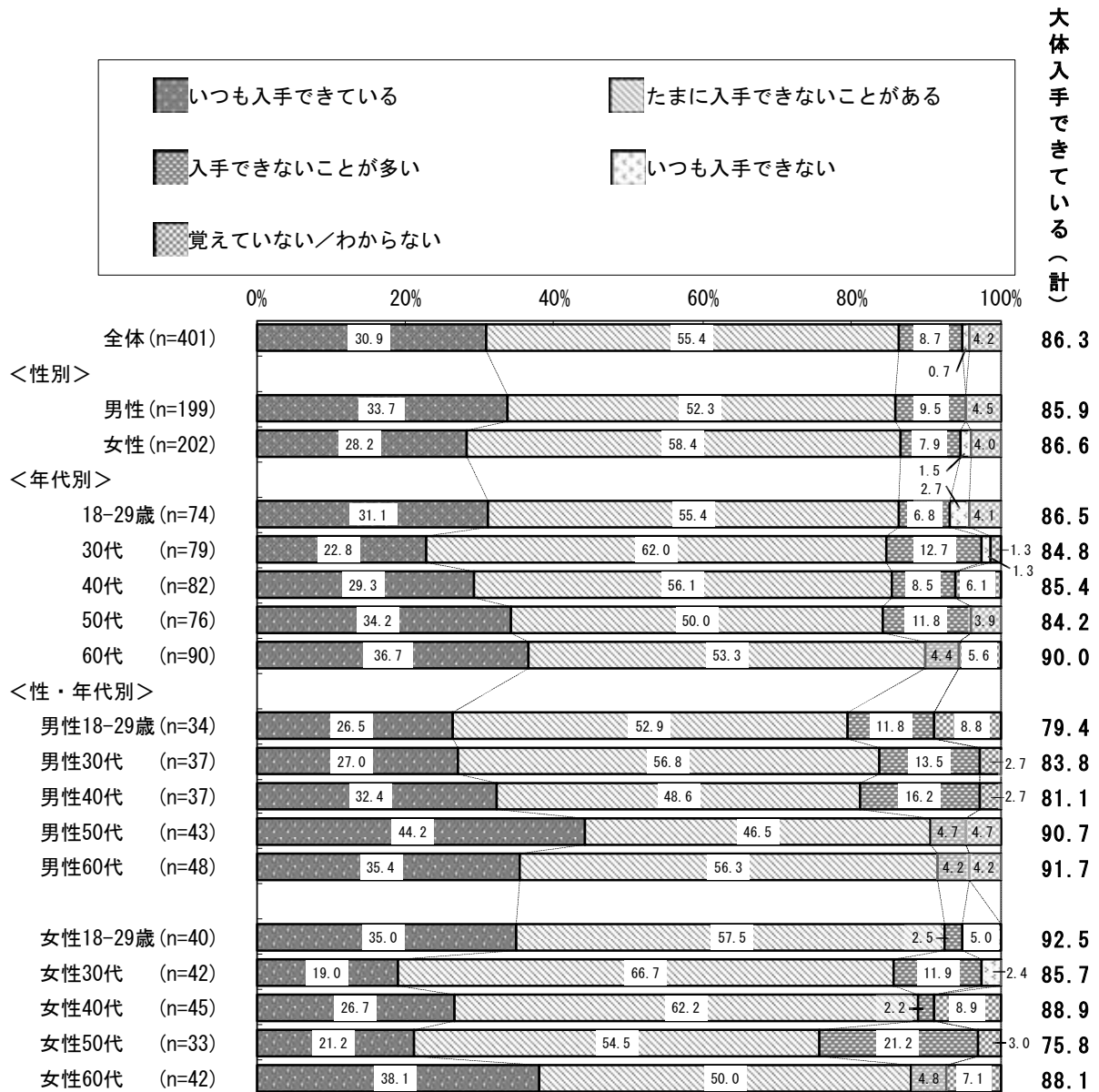


【比較結果】過去の同様の調査結果と比較すると、「利用したことがある」（40%）は、前回の調査結果（58%）よりも18ポイント減少した。

(Q17で、「利用したことがある」を回答した人が対象)

Q18. 市ホームページから知りたい情報の入手状況

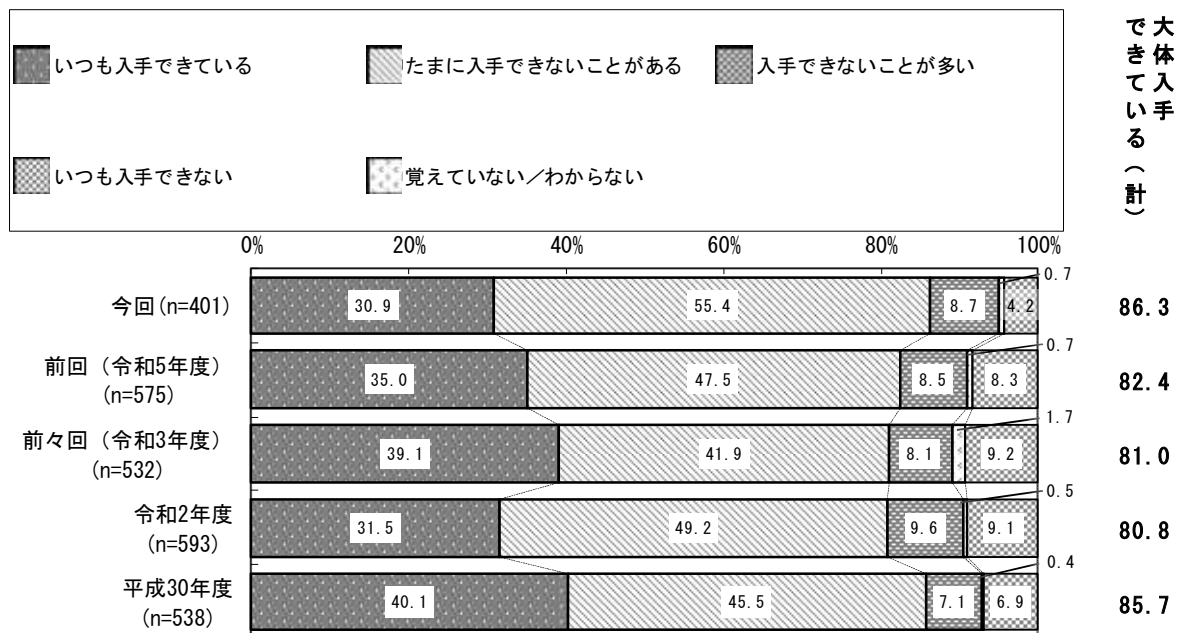
あなたは、さいたま市のホームページから、あなたが知りたい情報を入手できていますか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



【全体結果】 最近1年間で、さいたま市のホームページを利用したことがある人(401人)に、知りたい情報の入手状況を聞いたところ、「いつも入手できている」(31%)と「たまに入手できないことがある」(55%)を合わせた『大体入手できている(計)』は、86%であった。

◎性・年代別で見ると、『大体入手できている(計)』は、男性では年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、60代で92%となった。

Q 1 8. 市ホームページから知りたい情報の入手状況（経年比較）



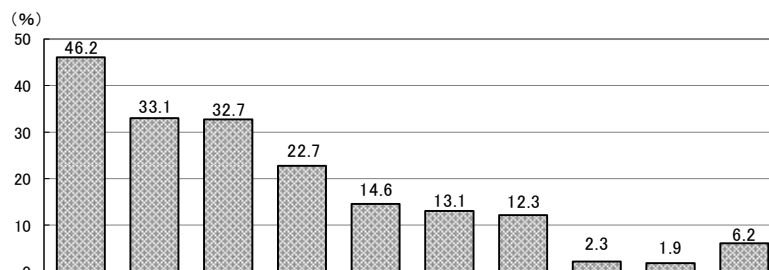
【比較結果】過去の同様の調査結果と比較すると、前回とほぼ同じであった。

(Q18で、「たまに入手できないことがある」または「入手できないことが多い」、「いつも入手できない」を回答した人が対象)

Q19. 市ホームページから情報を入手できなかった理由(複数回答)

あなたが、さいたま市のホームページから情報を入手できなかった理由は何ですか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



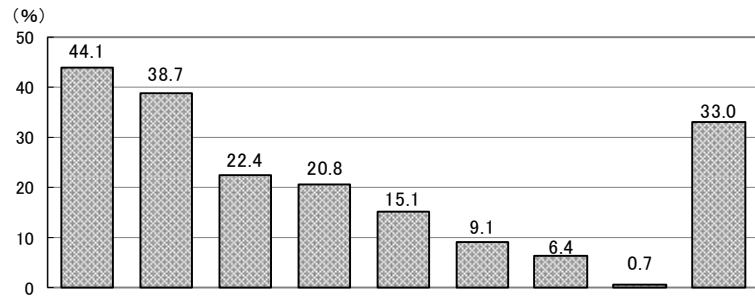
		キーワードで検索したが、情報が見つからなかった	カテゴリ検索で情報が見つからなかった	目的のページに知りたい内容が書かれていなかった	目的のページをタイトルから特定できなかった	目的のページに最新の情報が書かれていなかった	目的のページの意味がわかりにくく、理解できなかった	検索方法がわからなかった	PDFやwordなどの添付ファイルを開くことができなかった	その他	覚えていない／わからない
全体(n=260)		46.2	33.1	32.7	22.7	14.6	13.1	12.3	2.3	1.9	6.2
性別	男性(n=123)	43.9	35.8	28.5	22.0	14.6	8.9	14.6	2.4	0.0	5.7
	女性(n=137)	48.2	30.7	36.5	23.4	14.6	16.8	10.2	2.2	3.6	6.6
年代別	18-29歳(n=48)	33.3	31.3	22.9	25.0	16.7	18.8	18.8	6.3	0.0	8.3
	30代 (n=60)	51.7	20.0	28.3	23.3	8.3	11.7	11.7	0.0	3.3	8.3
	40代 (n=53)	41.5	41.5	43.4	24.5	11.3	17.0	13.2	3.8	3.8	0.0
	50代 (n=47)	46.8	27.7	44.7	14.9	23.4	8.5	8.5	2.1	0.0	12.8
	60代 (n=52)	55.8	46.2	25.0	25.0	15.4	9.6	9.6	0.0	1.9	1.9
性・年代別	男性18-29歳(n=22)	36.4	31.8	27.3	31.8	13.6	9.1	18.2	9.1	0.0	9.1
	男性30代 (n=26)	42.3	34.6	15.4	11.5	11.5	7.7	23.1	0.0	0.0	11.5
	男性40代 (n=24)	37.5	33.3	45.8	25.0	16.7	12.5	12.5	4.2	0.0	0.0
	男性50代 (n=22)	45.5	27.3	36.4	18.2	22.7	0.0	13.6	0.0	0.0	9.1
	男性60代 (n=29)	55.2	48.3	20.7	24.1	10.3	13.8	6.9	0.0	0.0	0.0
	女性18-29歳(n=26)	30.8	30.8	19.2	19.2	19.2	26.9	19.2	3.8	0.0	7.7
	女性30代 (n=34)	58.8	8.8	38.2	32.4	5.9	14.7	2.9	0.0	5.9	5.9
	女性40代 (n=29)	44.8	48.3	41.4	24.1	6.9	20.7	13.8	3.4	6.9	0.0
	女性50代 (n=25)	48.0	28.0	52.0	12.0	24.0	16.0	4.0	4.0	0.0	16.0
	女性60代 (n=23)	56.5	43.5	30.4	26.1	21.7	4.3	13.0	0.0	4.3	4.3

【全体結果】さいたま市のホームページから知りたい情報を入手できないことがあった人(260人)に、その理由を聞いたところ、「キーワードで検索したが、情報が見つからなかった」が46%で最も高く、「カテゴリ検索で情報が見つからなかった」、「目的のページに知りたい内容が書かれていなかった」(ともに33%)が続いた。

◎性別で見ると、「目的のページに知りたい内容が書かれていなかった」、「目的のページにたどりついたが、文章・単語の意味がわかりにくく理解できなかった」は、女性が男性よりも8ポイント高かった。

Q20. 市ホームページに望むこと（3つまで回答）

あなたは、さいたま市のホームページは、どのようなWEBサイトであると感じますか。
以下の中から、あなたの考えに特に近いものを3つまで選んでください。



		情報が探しやすい	内容がわかりやすく簡潔にまとめられている	スマートフォンの画面でも見やすい	情報量が豊富	災害時でも確実に利用できる	障害者や高齢の利用者に配慮された作りになっている	デザインがよい	その他	特にない／わからない
全体(n=1000)		44.1	38.7	22.4	20.8	15.1	9.1	6.4	0.7	33.0
性別	男性(n=500)	40.0	32.2	20.0	22.0	12.8	9.6	8.2	0.8	36.4
	女性(n=500)	48.2	45.2	24.8	19.6	17.4	8.6	4.6	0.6	29.6
年代別	18-29歳(n=200)	32.0	33.5	16.5	25.5	11.0	10.5	11.0	0.5	36.5
	30代 (n=200)	39.5	30.5	16.0	22.5	9.5	5.5	7.5	0.5	40.5
	40代 (n=200)	49.0	41.5	27.5	21.0	15.0	9.5	3.5	0.5	29.5
	50代 (n=200)	45.0	41.0	25.5	19.0	19.0	7.0	6.5	0.0	32.0
	60代 (n=200)	55.0	47.0	26.5	16.0	21.0	13.0	3.5	2.0	26.5
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	29.0	27.0	18.0	28.0	15.0	16.0	12.0	1.0	36.0
	男性30代 (n=100)	39.0	28.0	12.0	25.0	6.0	6.0	10.0	0.0	41.0
	男性40代 (n=100)	38.0	29.0	23.0	22.0	14.0	11.0	6.0	0.0	37.0
	男性50代 (n=100)	36.0	37.0	27.0	17.0	12.0	5.0	8.0	0.0	37.0
	男性60代 (n=100)	58.0	40.0	20.0	18.0	17.0	10.0	5.0	3.0	31.0
	女性18-29歳(n=100)	35.0	40.0	15.0	23.0	7.0	5.0	10.0	0.0	37.0
	女性30代 (n=100)	40.0	33.0	20.0	20.0	13.0	5.0	5.0	1.0	40.0
	女性40代 (n=100)	60.0	54.0	32.0	20.0	16.0	8.0	1.0	1.0	22.0
	女性50代 (n=100)	54.0	45.0	24.0	21.0	26.0	9.0	5.0	0.0	27.0
	女性60代 (n=100)	52.0	54.0	33.0	14.0	25.0	16.0	2.0	1.0	22.0

【全体結果】「情報が探しやすい」が44%で最も高く、「内容がわかりやすく簡潔にまとめられている」(39%)が続いた。

一方、「特にない／わからない」は、33%であった。

◎性別で見ると、「情報が探しやすい」、「内容がわかりやすく簡潔にまとめられている」は、女性が男性よりも8ポイント以上高かった。

◎年代別で見ると、「情報量が豊富」は、年代が下がるにつれ高くなり、18-29歳で26%となった。

◎性・年代別で見ると、「内容がわかりやすく簡潔にまとめられている」は、男性では年代が上がるにつれ高くなり、60代で40%となった。

3 調査票（アンケート画面）

SC1
必須

あなたのお住まいをお答えください。

- | | |
|-----------------------------------|--|
| <input type="radio"/> 1. さいたま市西区 | <input type="radio"/> 6. さいたま市桜区 |
| <input type="radio"/> 2. さいたま市北区 | <input type="radio"/> 7. さいたま市浦和区 |
| <input type="radio"/> 3. さいたま市大宮区 | <input type="radio"/> 8. さいたま市南区 |
| <input type="radio"/> 4. さいたま市見沼区 | <input type="radio"/> 9. さいたま市緑区 |
| <input type="radio"/> 5. さいたま市中央区 | <input type="radio"/> 10. さいたま市岩槻区 |
| | <input type="radio"/> 11. その他（具体的に） <input type="text"/> |

SC2
必須

あなたの性別と年齢をお答えください。

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="radio"/> 1. 男性 18歳未満 | <input type="radio"/> 10. 女性 18歳未満 |
| <input type="radio"/> 2. 男性 18～19歳 | <input type="radio"/> 11. 女性 18～19歳 |
| <input type="radio"/> 3. 男性 20～29歳 | <input type="radio"/> 12. 女性 20～29歳 |
| <input type="radio"/> 4. 男性 30～39歳 | <input type="radio"/> 13. 女性 30～39歳 |
| <input type="radio"/> 5. 男性 40～49歳 | <input type="radio"/> 14. 女性 40～49歳 |
| <input type="radio"/> 6. 男性 50～59歳 | <input type="radio"/> 15. 女性 50～59歳 |
| <input type="radio"/> 7. 男性 60～69歳 | <input type="radio"/> 16. 女性 60～69歳 |
| <input type="radio"/> 8. 男性 70～79歳 | <input type="radio"/> 17. 女性 70～79歳 |
| <input type="radio"/> 9. 男性 80歳以上 | <input type="radio"/> 18. 女性 80歳以上 |

「健康に関する生活習慣等」について、質問します。

Q1 日常生活において、歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- ☐ 1. はい
- ☐ 2. いいえ

Q2 あなたは、朝食を食べていますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- ☐ 1. 毎日食べている
- ☐ 2. 時々食べないことがある（週5・6日食べる）
- ☐ 3. 食べないことが多い（週3・4日食べる）
- ☐ 4. ほとんど食べていない（週2日以下）

Q3 現在、たばこを習慣的に吸っていますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

※「現在、習慣的に喫煙している者」とは、条件1と条件2を両方満たす者である。
条件1：最近1か月間吸っている
条件2：生涯で6か月間以上吸っている、又は合計100本以上吸っている

- ☐ 1. はい（条件1と条件2を両方満たす）
- ☐ 2. 以前は吸っていたが、最近1か月間は吸っていない（条件2のみ満たす）
- ☐ 3. いいえ（1、2以外）

Q4 ストレスを感じた時に、自分に合ったストレスの解消法を知っていますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- ☐ 1. 知っている
- ☐ 2. 知らない

Q5 さいたま市を中心とする食育や健康に関する情報提供のホームページサイト「さいたま市食育なび」「さいたま市健康なび」を知っていますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

※詳しくは以下のサイトをご覧ください。

■さいたま市ホームページ「「さいたま市食育なび」「さいたま市健康なび」をご利用ください」

- ☐ 1. 両方とも知っている
- ☐ 2. 食育なびは知っている
- ☐ 3. 健康なびは知っている
- ☐ 4. 両方とも知らない

Q6 令和5年12月にリニューアルした、スマートフォンアプリを活用し継続的な健康づくりを支援する「さいたま市健康マイレージアプリ WoLN(ウォルン)」に参加していますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

※詳しくは以下のサイトをご覧ください。

■さいたま市ホームページ「さいたま市健康マイレージの参加者を募集しています！」

- ☐ 1. 参加している
- ☐ 2. 参加していたが、現在は参加していない
- ☐ 3. 参加していない
- ☐ 4. さいたま市健康マイレージアプリ WoLN (ウォルン) を知らない

「平和に対する考え」について、質問します。

さいたま市平和都市宣言

世界の恒久平和実現は、人類共通の願いです。

戦争を経験したわが国は、世界で唯一の核被爆国として、戦争の怖さ、惨めさ、無益さを、また、核兵器の恐ろしさを世界の人々に訴えてきました。

しかしながら、今なおこの地球上では、戦争やテロリズム等により多くの尊い命が奪われています。

平和を希求する私たちさいたま市民は、国際社会の一員として、世界に開かれた都市づくりを推進するとともに、核兵器等の廃絶と世界の恒久平和実現に貢献することを誓い、戦後60年にあたり、ここに平和都市を宣言します。

Q7 あなたは、さいたま市が平和都市宣言をしていることを知っていましたか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- ☐ 1. 知っていた
- ☐ 2. 知らなかった

Q8 さいたま市では、平和都市宣言に基づいて、さまざまな平和に関する事業を実施しています。
必須 以下の中から、あなたが特に実施してほしいと思うものを**3つまで**選んでください。

- ☐ 1. 平和・戦争に関連する史料（文献や戦時中に使われていたものなど）に触れる機会を提供する
- ☐ 2. 平和・戦争を題材にした映像（映画やドキュメンタリーなど）に触れる機会を提供する
- ☐ 3. 平和・戦争を題材にした作品（絵画や写真など）に触れる機会を提供する
- ☐ 4. 平和・戦争を扱った講演会やシンポジウムなどを開催する
- ☐ 5. 戦争を経験した人の経験談を聞く機会を提供する
- ☐ 6. 戦争の悲惨さを知る機会を提供する
- ☐ 7. 子どもの頃から平和・戦争について考える機会を提供する
- ☐ 8. その他（具体的に）
- ☐ 9. 特にない／わからない

「自動体外式除細動器(AED)」について、質問します。

Q9
必須

あなたは、(1)さいたま市の各区役所に24時間誰でも使用可能なAEDが設置されていることを知っていますか。

また、(2)さいたま市の市有施設内のAEDは、原則、トイレ付近に設置されていることを知っていますか。

以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

自動体外式除細動器（AED）：心室細動（心臓が細かく震え、血液を全身に送ることができない状態）を起こした際、心臓に電流を流してショックを与えることで、正常な心臓のリズムに戻す機能を持つ医療機器です。

- ☐ (1)、(2)ともに知っている
- ☐ (1)は知っているが、(2)は知らなかった
- ☐ (2)は知っているが、(1)は知らなかった
- ☐ (1)、(2)ともに知らなかった

Q10
必須

あなたが、24時間誰でも使用可能なAEDを設置した方がいいと思う市有施設はどこですか。以下の中から、あてはまるものを3つまで選んでください。

- ☐ 1. 公園
- ☐ 2. スタジアム
- ☐ 3. コミュニティセンター
- ☐ 4. 公民館
- ☐ 5. 図書館
- ☐ 6. 文化施設（市民会館等）
- ☐ 7. その他（具体的に）
- ☐ 8. 24時間誰でも使用可能なAEDを設置する必要はない
- ☐ 9. わからない

Q11 あなたが、A E Dを搭載したほうがいいと思う市内を循環する市有車両はどれですか。
必須 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- ☐ 1. ごみ収集車
- ☐ 2. 青色防犯パトロール車
- ☐ 3. その他（具体的に）
- ☐ 4. 市内を循環する市有車両にA E Dを搭載する必要はない
- ☐ 5. わからない

Q12 あなたの自宅や勤務先付近などに、24時間誰でも使用可能なA E Dが設置されたらどのような印象を抱きますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを**3つまで**選んでください。

- ☐ 1. 安心して生活ができる
- ☐ 2. 救命や健康への意識が高まる
- ☐ 3. 地域の助け合いの心が根付く
- ☐ 4. 不安感を煽る
- ☐ 5. 景観を損ねる
- ☐ 6. A E D収納ボックスの転倒など心配がある
- ☐ 7. その他（具体的に）
- ☐ 8. わからない

Q13 あなたが、A E Dを身近に感じられる取組として望ましいと思う周知方法は何ですか。
必須 以下の中から、あてはまるものを**3つまで**選んでください。

- ☐ 1. 定期的なSNS等での配信
- ☐ 2. 啓発品の作成と配布
- ☐ 3. キャンペーンなどの実施
- ☐ 4. 映像を用いた広報
- ☐ 5. イベントでのブース出展
- ☐ 6. その他（具体的に）
- ☐ 7. わからない

「終活への関心」について、質問します。

Q14 あなたは、「終活」という言葉を聞いたことがありますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- ☐ 1. 聞いたことがある
- ☐ 2. 聞いたことがない

Q15 「終活」とは、高齢期に行うべき様々なことを含んだ言葉です。
必須 高齢化が進展する中で、どのような「終活」が重要だと考えますか。
以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- ☐ 1. 身の回りや持ち物の整理
- ☐ 2. パソコンやスマホのデータ整理
- ☐ 3. 財産の整理
- ☐ 4. 認知症になった場合の備え
- ☐ 5. 成年後見制度の利用
- ☐ 6. 介護サービスの利用や施設入所についての意思決定
- ☐ 7. 延命治療や緩和ケアについての意思決定
- ☐ 8. エンディングノートの作成
- ☐ 9. 日常的な見守りや安否確認の手配
- ☐ 10. 遺言書の作成
- ☐ 11. 相続の準備
- ☐ 12. 葬儀やお墓に関する準備
- ☐ 13. 亡くなった後の手続きに関する手配
- ☐ 14. その他（具体的に）
- ☐ 15. 終活が重要だと思わない
- ☐ 16. わからない

Q16 ご自身やご親族の老後や今後の人生について、不安を感じることがありますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- ☐ 1. 強い不安を感じる
- ☐ 2. 少し不安を感じる
- ☐ 3. あまり不安は感じない
- ☐ 4. まったく不安は感じない
- ☐ 5. わからない

「市ホームページの利便性」について、質問します。

Q17 あなたは、最近1年間で、さいたま市のホームページを利用したことがありますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

※詳しくは、以下のサイトをご覧ください。

■ [さいたま市ホームページ](#)

- ☐ 1. 利用したことがある
- ☐ 2. 利用したことがない
- ☐ 3. わからない

Q18 あなたは、さいたま市のホームページから、あなたが知りたい情報を入手できていますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- ☐ 1. いつも入手できている
- ☐ 2. たまに入手できないことがある
- ☐ 3. 入手できないことが多い
- ☐ 4. いつも入手できない
- ☐ 5. 覚えていない／わからない

Q19 あなたが、さいたま市のホームページから情報を入手できなかった理由は何ですか。
必須 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- ☐ 1. 検索方法がわからなかった
- ☐ 2. カテゴリー検索で情報が見つからなかった
- ☐ 3. キーワードで検索したが、情報が見つからなかった
- ☐ 4. 目的のページをタイトルから特定できなかった
- ☐ 5. 目的のページに最新の情報が書かれていなかった
- ☐ 6. 目的のページに知りたい内容が書かれていなかった
- ☐ 7. 目的のページにたどりついたが、文章・単語の意味がわかりにくく理解できなかった
- ☐ 8. PDFやwordなどの添付ファイルを開くことができなかった
- ☐ 9. その他（具体的に）
- ☐ 10. 覚えていない／わからない

Q20 あなたは、さいたま市のホームページは、どのようなWEBサイトであるかよいと思いますか。
必須 以下の中から、あなたの考えに特に近いものを**3つまで**選んでください。

- ☐ 1. 情報が探しやすい
- ☐ 2. 情報量が豊富
- ☐ 3. 内容がわかりやすく簡潔にまとめられている
- ☐ 4. 障害者や高齢の利用者に配慮された作りになっている
- ☐ 5. デザインがよい
- ☐ 6. 災害時でも確実に利用できる
- ☐ 7. スマートフォンの画面でも見やすい
- ☐ 8. その他（具体的に）
- ☐ 9. 特にない／わからない

このさいたま市インターネット市民意識調査業務の委託に要する経費は 218 万円です。